

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（63）」

2. 日時：令和5年1月25日（水）10時00分～12時15分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、森田安全審査専門職、加藤

原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田首席技術研究調査官、廣田主任技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法

令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000170.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関する資料提出（令和5年1月18日）

https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear_facilities/WAS/tokaiL3/meeting/index.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:01	はい。
0:00:02	原子力規制庁のスゴウそれではただいまより、平成 27 年 7 月に日本原電株式会社から申請のありました、東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所、
0:00:15	第二種廃棄物埋設事業許可申請に関するヒアリングを行いたいと思います。本日も自動文字起こし C を使用して比しますので、
0:00:27	発言される前には所属とお名前をおっしゃってください。出席者を紹介します。まず原子力規制庁ですけれども原子力規制部研究炉等審査部門より、
0:00:43	安全規制管理官のシマオオツカモリタかとスゴウ、放射線廃棄物研究部門よりヤマダヒロタになります。
0:00:53	日本原電の方からの出席者の紹介もお願いいたします。
0:01:00	現在のハママツ現在の出席者にありますけれども、排出プロジェクト推進室から野口室長代理、国松部長、河内グループマネージャー。
0:01:13	今村学校ハウチンタケゴシマシモサクマハママツと開発計画室烏フジワラの計 11 年の傘下にあります以上です。
0:01:24	規制庁のスゴウです。ありがとうございますそれでは早速ヒアリングに入りたいと思います。本日は、1 月 18 日に提出いただいております資料に基づいてヒアリングをしたいと思います。
0:01:40	事前に我々江藤名としてるんですけれども、
0:01:48	ちょっと藤善太
0:01:53	としてですねちょっと我々からまず、
0:01:56	コメントというか指摘を、
0:01:59	したいと思ってまして。といいますのは、
0:02:01	前回の、
0:02:04	審査会合でちょっと指摘しました、侵食防止で吸い出し防止材を設置するっていうお話で、
0:02:16	これ自体の最初設置場所ですとか、素材がどうだとか仕様がどうだとか、昨日もちょっとまだ、
0:02:26	説明いただいてないんですけれども、
0:02:30	特にこれを掘り所に評価期間、1000 年ですね、新所食うは大丈夫だっていう話で、
0:02:41	その評価機関の健全性についても説明をっていうことを指摘したと思いますんで、

0:02:49	ここ
0:02:51	人工物の
0:02:56	人工物なので、本当 2000 持つかどうかというところが、
0:03:01	ちょっとこの評価の成立性という観点でのポイントというか、
0:03:07	ネックになるようなところかなと思ってまして、ここがちょっと説明できないと。
0:03:14	我々その線の評価の、
0:03:18	前提として
0:03:20	パラメータ設定だとかいろいろですね、ちょっと、
0:03:23	確認しても、
0:03:26	何でしょう、あまり
0:03:29	もしその結果次第によっては変わる可能性もあって、ちょっと意味がないものになってしまうかなと思ってますので、今のこの設計で、
0:03:40	評価 1000 年でやりますっていう話であれば、まずはちょっと、
0:03:46	この吸い出し防止剤の
0:03:50	そのものがどういうものなのかっていうのプラス、
0:03:54	評価期間、1000 年の健全性について、
0:03:58	ちょっとまず説明をしていただく必要があるかなと思ってますんで、
0:04:04	その上で、
0:04:08	の健全性、説明するっていうのが、
0:04:11	難しいっていうことであれば、
0:04:14	例えばその、
0:04:15	評価方法ですね、評価期間。
0:04:19	も含めてなんですけれども、例えばもうピーク立つところまでは、しっかりと持つものっていうことを示して、それ以降は、
0:04:31	どう、どうなって持っていったらあれですけど、基本的には、
0:04:36	あまり機能を、
0:04:39	期待しなくても大丈夫だっというような評価をすとかですね、もしくはそもそも設計を変えるっていう、
0:04:49	選択肢もあるのかなと思ってますで、ちょっとですね、この、
0:04:57	評価の、
0:04:59	今後四方みたいなもので、衛藤。
0:05:04	日本原電としてどういう方針で、
0:05:07	進めようとしてるのか、
0:05:12	ちょっとまずそこをですね。

0:05:14	説明いただきたいなと思ってます。
0:05:18	ちょっとよろしいでしょうか。
0:05:23	18年の9月です。コメントありがとうございます。よろしくお願ひします。そうですね
0:05:30	今ご指摘ありました吸い出し防止剤については、確かに我々その詳細な内容、こういった材質でとか、そういった役割をやってるという説明はまだできていなくて、今回の例えば状態設定の中では、一応その2年については影響事象分析の中で、堀江
0:05:50	鳥居を主体とする耐候性つらい熱を持ったんで、劣化に関して言えば、まずは紫外線の劣化のみが考えられると思います。
0:06:01	そういったことを考えますと、別にある一ノ瀬野崎1日の時代については、基本的には劣化というものは考えられないので、線源の状態も変わらないという考えのもとで、
0:06:15	1000年の状態設定の中でもそういった劣化維持というものは見いだせなければ、規模粒子の流出というのを防止できるというふうに考えております。で、
0:06:25	確かに設計の方ではもう少し詳細にどうしてそういう意味で材質を使って、こういったところというのを説明するという意味で、参考文献の指摘事項リスト今回ご要望がありましたので、審査会合でありました指摘事項の方を取りまとめさせていただきまして、その中では次回以降の審査会合の中で、その積
0:06:45	について説明させていただきたいという趣旨で書いておりますが、基本的にはこの影響事象分析の中でも我々まずはこの水元時代歩いについては、定期定分析の中でも劣化ニーズというのはないと考えておまして、人工構造物にはなるんですが、
0:07:07	前年、持つであろうという説明をしたいと思っております。ただ、しかしながらですねこれ人工構築物てれば、かなり引かかるということであればそれに対して1000年間、
0:07:22	維持することに疑問があるということでは、例えば代替手段として別のものを、例えば海外でもよく認知られてる部分、実績のある植生そう見るとか、そういったことも考える必要あるのかなというのは、思っております。それについては
0:07:39	少しmRNAのご意見も聞きたいなというところなんです。あと津田さんから今お話のありました評価期間の見直しはどうかということについても実は我々の方でも検討をしておまして、

0:07:52	DとかAさんに関して言いますと我々がそのひゅバリアに期待する期間として必要なものは、要するに100年間300年と考えております。
0:08:03	それ以降は、バリア機能を期待せずに評価を行って、我々が求めるような設定の期間というのも、例えば300人の弁理士ますよというような説明もできないかということは一応検討の中では、
0:08:18	進めたんですが、ちょっといろいろバリア機能を見込まないという評価に対してのところで、少し課題が幾つかありまして、その点で、
0:08:32	今すぐにこの説明を変えるのは難しいのかなという判断で、今回提出させていただいた資料は従来の、前年までの評価というのを前提に、ちなみに、
0:08:44	出させていただいております。
0:08:48	はい。
0:08:53	ご質問がありました関係に関しては以上お願いします。はい。規制庁の鷲見衛藤。
0:09:00	吸い出し防止材の、
0:09:03	状態所性状の変化想定されないというところは資料の1-1、2-4ページ、2、
0:09:14	記載されてるのは我々も確認してるんですけども、
0:09:19	ちょっといかんせん定性的な書きぶりで、ちょっとポリエステルで本当に、
0:09:29	性状の変化詮無いっていう、いうことが、これだけだとまずデータとかが示されてないんで、本当かな、キックに。
0:09:39	もうちょっと思ってます。
0:09:42	衛藤。ちょっといずれにしてもですね、まず、
0:09:52	どういう方針でやろうとされてるか今、古閑さんから説明ありましたけれども、ちょっとそこ、
0:10:01	を示してい。
0:10:03	いただかないと、ちょっと前に進めないなと思って、
0:10:07	出るんで、江藤。
0:10:10	まずはそこをちょっとまとめめいていただきたいんですけども、いかがですか。
0:10:19	ちょっと待って規制庁ヤマダでございます。ちょっと今の質問の追加をしてコメントさせていただきます。

0:10:30	先ほど劣化要因が紫外線だけだというふうにおっしゃったんですけども、これすいません。ただだということではおそらくなくてですね、たくさんあるレッカーに、
0:10:46	至る可能性のある事象の中で、通常の利用であれば紫外線による劣化が支配的である。遅クオーターって違うということだと思います。で、であれば通常の使用においては、
0:11:00	あそこのところで、松木に寿命が来るので、そこを念頭に置くということだと思いますけれども、
0:11:07	処分の場合、この場合も別紙配置をするので、通常他の量に比べると不安定なんだけれども一方で、期間が極めて長いところで、
0:11:20	一体どういった劣化事象があるのかということが、鍵になりますので、これ御社の処分のシステムとは違いますけれどもその腐食の問題であるとか、
0:11:33	他の粘土とかコンクリート劣化の話も同じですね、通常の利用とは、
0:11:41	違うモードの極めてわずかだけれども、長期にかかって、劣化をするという事象がどのように影響するのかということが課題になりますので、そこは同じような視点で見直すということが必要だと思います。
0:12:02	寝正月におきましてありがとうございます。少し指摘の趣旨というのは、よく理解できたような気がするんです。そうしますと、例えば吸出し防止剤の評価について、今例えば影響事象分析の中で整理しているものをもう少し、
0:12:18	定量的な評価をして、影響がないとする根拠を取りまとめるとか、そういった内容を求められているという理解でよろしいでしょうか。
0:12:29	規制庁麻生です。はい。その通りです。
0:12:38	基本所達をもちましてそうしますと松田氏の時代というのは一つの例なんですけど、それ以外にも、例えばここということに対して東急と具体的なジャパンを、
0:12:49	になるんですけど我々の施設であれば、そのジャパンについても
0:12:55	1000年という状態設定の中に置いて、
0:12:59	求めを答えているという理解でよろしいでしょうか。規制庁の凄さ
0:13:06	方向があるっていう、何でしょう。
0:13:12	金理由っていうのかな、その凶方向があるっていう状態として、金属で囲われた石っていう前提であれば、
0:13:22	コアンさんがおっしゃる通り、1000年本当に大丈夫なのっていうのはあるんですけど、

0:13:27	金属見込んでなくて、岩だけっていうんですかね。
0:13:31	という状態であれば、そこは前年あるんだろうなっていうのは、
0:13:38	思ってますから、ちょっとその、
0:13:41	どういう想定をされてるかによるかなと思ってます。
0:13:47	梅津東コアシに進むようでございますそうしますと、例えば会合の状態設定についても、今マトリックスの中で説明ではなくて、もしこの期の状態がどうなるかということ例えば、自然現象の風だとか台風とか、そういったものを踏まえて、
0:14:04	こういうのが飛散しないのかと。当然、鏡のようなものは、50年ぐらいすれば、ほぼ等の役割を果たせなくなったのでそういうものがない状態でも、若干落として、5センチから15センチの碎石が、
0:14:20	どういった状態になるかというのを少し、定量的な評価を加えて説明をして欲しいという理解でよろしかったでしょうか。規制庁のスゴウですそうですね
0:14:32	ここを、その金属の過誤プラスプラスで考えてるのであれば、
0:14:38	そこも、その定量的な健全性の評価っていうのは必要になってきます。
0:14:49	大村さんのコアシですありがとうございますそうしますと我々としては、若干本を追加している資材について、少し
0:15:00	定量的な評価を加えながら、特に侵食に対してですとか、これについては、まずどういったことか思っていて、それがほぼ予算に対してどういう役割を持ってるのかというところを、
0:15:15	説明を追記させていただきたいと思います。
0:15:20	もう一つこれ期
0:15:22	推測というかちょっとした個人的な考えなんですけど、例えば海外の実績で言えばEPAの宮村さんがおっしゃられるEPAの場合見ますと、直清掃というものが挙げられていて、
0:15:35	でもそれも一つの人工構築物を用いない点などを用いたという扱いになるとか、そういった対策もあるのかなって思っていて、そういったものは非常に侵食線耐震設計にもすぐれていて、
0:15:50	もしかしたらそういうところも考えて欲しいというようなご指摘をいただいているのかなと思ったんですけどそこについてはいかがでしょうか。
0:16:02	規制庁ヤマダでございます。

0:16:05	侵食が主です。植生をすれば良いってということで、ないないと思いますが、実績があるということはそう言った、少なくとも数十年単位での性能、
0:16:21	の維持というのが認められている。私は植物ですので、その後、何ていうか、性能更新っていうか、
0:16:31	そういったことも、ここあるということなんだろうとは思いますが。もちろん根っこが入り込むことの問題であるかですね、それはそれで検討しないといけないところがあると思いますけれども、利点があるのは事実だと思っております。
0:16:48	小杉本庄加瀬の小橋です。ありがとうございます。ちょっとそうした今いただいた意見も踏まえまして、対応については、少し我々の方でも詰める必要があるのかなと考えております。あともう一つ
0:17:02	もう少し今後の対応を求める聞きたい点がありまして、すぐさまから従前より悪いという評価機関の見直しのところでも、
0:17:10	先ほど申しましたように、東海L3に関しては、300年程度、バリア機能が維持できれば問題ない、線量基準を満足するという考えでいるんですが、
0:17:23	その300年以降も、バリア機能を維持できないという状態を想定するかによって、ちょっと線量評価については課題が出てくると当然基準線量を超えないんですけど、実は、
0:17:38	とかL3のような施設II、D、J-Rというのは非常に村も少ないですし、であること自体も少ないんですが、
0:17:48	どうしてもですねそのバリア機能の喪失というのを、極端にですね、10のマイナス10乗から9乗の透水係数が地盤と同等の13-4までがくっと上がって、ステップ状に、
0:18:02	変化したことによって、浸透水量を入れた。これは、涵養量とほぼ同等ということになるかと思うんですが、そういった浸透水量をステップ状に入れますと、
0:18:13	そのあとの高線量ピークが、最大線量、今我々が評価しています最大線量を少し超えてくるような、JRRのピンクとか、
0:18:23	になってしまうのがあって、ポイント評価が果たして
0:18:29	私学線量評価として受けられるものなのかどうかというのは、当然最初の最大線量のピークを超えない状態で、二次ピークというのが出れば、それは非常に説明性があるもんだと思うんですけど、

0:18:43	我々インベントリーとしても少ないこのJ R等はどうしてもそういった、二次ピークを作ってしまうというところ、基準を超えていないっていうことが前提なんですけど、
0:18:53	それが少し線量評価の中でどう扱うべきかというところをクリアしてまして、
0:18:59	もしこの辺についてはいわゆるガイドの中でも、当然このバリアの機能の見込まずにというような説明もございますので、何かこう、
0:19:08	知見ですとかご意見というのがあれば、いただくと非常にありがたいんですが、いかがでしょうか。
0:19:35	ああ、すみません規制庁のスゴウです今、小橋さんがおっしゃった
0:19:39	その期線量に対してっていうのは、
0:19:47	何でしたっけ。厳しいシナリオでの話なのか、もう一つ可能性の高いシナリオでの話なのかっていうのは、あれですかね、どっちになるんですかね。
0:20:00	日本原子力発電の小橋です。両方でございます。現職事象の可能性が高い、厳しい両方になるんですか。はい規制庁の須田さん
0:20:10	今おそらくっていうとあれなんですけれども、
0:20:13	多分 300 年以降の、
0:20:17	何でしょう、先ほどおっしゃったとして、
0:20:21	それぐらいの
0:20:24	機能喪失を見込んでるカーにもよるとは思うんですけれども、
0:20:28	基本的には厳しいシナリオD、
0:20:32	やればいいかなと思ってたし、可能性高いシナリオの方で、そこまでその視点する必要はないかなと思ってますで、
0:20:42	下、
0:20:44	それなりに、
0:20:45	なんでしょう。
0:20:47	ここ、これ壊し方しないので何ともあれなんですけど。
0:20:51	これだk見込んでれば、
0:20:57	まあいいよねっていうのが、
0:21:00	大丈夫。
0:21:01	皆さん、多分審査してれば、これは逆にやり過ぎかなとかもあるかもしれないですけど、
0:21:08	その結果として 300 を超えてないんであれば、
0:21:13	いいのかなと思ってます。はい。

0:21:19	名称が税のコアシです。ありがとうございます。逐次説明をすると、要するに我々の手術は神戸市軽減の機能を持たせていて、それによって線量ピークを抑えているのが、最初の最大のピークのところにあって、
0:21:35	その機能を失ったときには、全く機能持たなくなりますので、どうしても中に流出したような、特に全 α になるんですけど、この長半減期のものですので、そういったものがどうしてもピークとして、
0:21:48	最初のピークを超えてしまうというのは、これは施設が持っているバリア機能がよく把握されているということなのかなと思っていて、今おっしゃられたように、そういった線量評価結果をCSというのもあるんですけど、例えばなんですけど、考え方として、
0:22:04	これはこのバリアに求められる金額機能の考え方の評価として扱って、基本的には300年の中で最大線量を考えて、積極線量を行うという状態設定における評価と、
0:22:20	被ばく線量評価における評価の期間も、評価の分けっていうのを考えるというのは可能なんでしょうか。少し
0:22:31	うまく説明できてないかもしれないんですけど、要するに
0:22:35	あくまでもバリュー機能を喪失したときの評価というのはこれ評価期間がいつまでですかっていうことを確認するための表であって、例えば今日委員会で示すような被ばく線量評価じゃないと、要するに最大線量評価というのは、企業線量を超えないというところをどこで見るかというところと最初のバリア機能が維持されている施設で、
0:22:55	の線量評価をもって、確認をするというようなことが理解として、そういう理解はしてもいいのかなっていうのはいかがでしょうか。
0:23:06	規制庁の庄司戸谷さんがおっしゃってる理解でいいと思ってます
0:23:12	我々、一応ガイドでは1000年の状態設定をして、
0:23:17	それ以降の評価にあたっては、その状態が続くっていうのでまずはやりなさいと。で、
0:23:27	それで基準線量光栄な、そう声、そう。ちょっとすいません。超えるような場合は、
0:23:39	超えないのか。
0:23:42	何か破壊、厳しくもっと厳しくして評価しろっちゅう話になってますけれども、
0:23:49	その線までの期間を、
0:23:52	何でしょう。
0:23:56	施設の状況だとかいろいろ踏まえて、300年にしてやるっていうのは、全然説明がちゃんと

0:24:07	してれば、
0:24:08	別に問題ないと思ってますんで、そこだけしっかり説明を加えてくれればいいんじゃないかと思ってるガイドに、
0:24:18	ばっちり沿ってやる必要はないんであれあくまで一つの例ですので、同等のことを説明してくればいいと思います。
0:24:31	改善の講師ですありがとうございます。非常に線量評価の期間の見直しについても考え方がクリアできたかなと思いますので、我々としてはまず期間を
0:24:43	300年等に限定できないかというところを置いて、まずその上で、この工期手塚強化若干方を、急性期の時代の危険性について、その期間内での維持というのを少し定量的に評価できるようにというので、
0:24:59	まとめていきたいと思いますが、
0:25:02	ただ賃料評価の見直しというのも実は前回の審査会合でこの5000年の地域環境の条例から、少し降水量の方の考え方というのを、
0:25:13	300年に絞って、設定の見直しというのが生じますので、そういったところも反映しながら、本当にそれで説明できるかどうかというところを見直しながら、
0:25:24	目標としては、この期間を制限ではなくて、その割り当ての二次する期間を短くできないかというところを、
0:25:32	清真柄を少し取りまとめていきたいと考えております。
0:25:36	よろしかったでしょうか。
0:25:38	規制庁麻生です。今、コアシさんがおっしゃってるあれですかね。衛藤。
0:25:44	基本的には、綿Cが、次、冒頭申し上げた
0:25:49	より、多分選択肢三つあって今の設計のまま、1000年やるのであれば、
0:25:58	その吸い出し防止材とか若干この健全性1000年間の健全性を示すまです示すって話が一つと。
0:26:08	あとそれから評価期間を、
0:26:10	ちょっと短くしてみるっていうのがもう二つ目と。
0:26:15	三つ目は
0:26:17	ちょっと植生の話されてましたけど、設計そのものを変えるっていうのがあると思ってて、
0:26:24	今のところ
0:26:26	ちょっと三つを、
0:26:28	と同時に進めて、

0:26:31	その結論としてどれかを選択するっていうことを、
0:26:38	ちょっと考えてらっしゃるっていう理解でよろしいですか。
0:26:43	日本原子力発電のコアシです
0:26:47	基本的にはそういった考えていたんですが、ちょっと確認なんですが、
0:26:53	坪さんのコメントというのを、要するにいずれかをとってくればいいという理解でいいでしょうか。というのは私、今どうしたのは、すれば期間というのは、まず期間の見直しというのは第1におきながら、
0:27:08	一方で期間を短くすることによってより
0:27:12	後です。給水活動自体の健全性の説明というのは、期間が短くなればなるほど、向上できるものと考えたので、
0:27:19	2番目にそういった、若干こう給水活動自体の健全性の説明というのを、こういったものなのかなと思うんですけど、もしその期間は既存6年という期間にするのであれば、
0:27:33	若干後給水の人口構造、器物に対してそれほど
0:27:39	込み入った説明を求められていますか、そういったものを、財政面ではないという意味で言えば、3年では非常に定年からすれば短いので、
0:27:52	そこは選択肢としては置かなくても、規定上だったんでしょ。すいません確認になります。
0:28:01	あ、規制庁のすいません
0:28:04	衛藤。
0:28:05	結果として、1000年に比べればもし300年でやるとしたら、
0:28:10	その結果として、その何ていうんでしょうね、持つ持ちそうだとかいう評価にはなるのかもしれないですけどそれはあくまで、
0:28:20	やっぱりその定量的に評価をもらう。
0:28:25	欠陥になるんで、
0:28:27	衛藤。
0:28:30	いずれにしても、評価期間短くしても、
0:28:34	同じ設計でやるのであれば、
0:28:38	数定量的な評価はし、
0:28:43	いただく必要があると思ってます。
0:28:49	0 沼沢コアシですありがとうございます。そうしましたら方針としましてはまずアの期間を見直すというところを前提に置いて、その上で、
0:28:59	人工構築物である若干、1日の資材の健全性の評価をいくと。ただ、もしそれが非常に難しいという判断を我々がしたのであれば、

0:29:11	設計を変えるというようなところで、三つの選択肢を選びたいと思います。
0:29:20	規制庁のスゴウです。そこは承知しました。
0:29:24	なのでちょっとですね、次回の審査会合で、
0:29:30	まずはちょっとその方針を示していただいて、でないちょっと衛藤資料をご用意いただいているんですけども、
0:29:40	我々が今確認しても手戻りになる。
0:29:46	可能性が高いので、素行を表明していただいて、
0:29:54	あとはそうですね。
0:29:58	スケジュールカン程度なりますかね。そうすると、
0:30:07	あ、すいません日本減少が全部コアシですちょっとですね今言った方針で進めるにとってどのぐらいの期間を要するかというのは早急に、
0:30:18	ここにまとめて返答したいと思います。わかりました。
0:30:22	はい。お願いいたします。はい。規制庁のスゴウです。その方針とですね、どれぐらいの期間見込むのかっていうところ。
0:30:34	今後の予定ですね、含めて、ちょっとそこは次回の審査大綱向けに、
0:30:40	まとめていただければと思いますそうすると多分、
0:30:47	そこの話だけでちょっと、次回終わってしまうかなと。
0:30:54	それ、それに基づいて何か、
0:30:57	資料がまだ用意できる余地があるのであれば、扱ってもいいんですけど、
0:31:03	まずはちょっとその方針、
0:31:06	ところを固めていただければと思います。
0:31:10	のでよろしくお願いします。
0:31:16	大橋です。そうしますと磁界の審査会合について、方針の資料だけ準備するということも、とても
0:31:28	評価期間の見直しであれば、具体的な評価結果示しながら新開椎野も参考としてですね、
0:31:36	示して、評価期間としてはこのぐらいが必要なんですけど、その上で、
0:31:41	被ばく線量評価はこうあるんですというのを、少し資料の修正までは行って、
0:31:47	出すというようなイメージか。それ、そこは、こちらになるんですね、規制庁もそうです。
0:31:54	今木場さんがおっしゃった、その資料も含めてっていうところまで、できるのであれば、それで進めていただいて構わないです

0:32:08	ふうん。
0:32:09	今何、何が1月25日。
0:32:14	ちょっと時下飯野審査会合に向けて、
0:32:18	資料提出を31日にお願いしたいなと思ってまして。
0:32:25	東ソー。
0:32:26	税との兼ね合いもあって、どこまでできるかなっていうところなんですけど。
0:32:35	日本の正月の形です。それで31日ということであれば更新をまとめるのが精一杯カーナビますのでまずはそこに協力させていただきたいと思えます。はい、清家もそうですよろしくお願ひします。
0:32:49	ドーンとすると。
0:33:28	規制庁のスゴウですすそれで、
0:33:32	あとですね。
0:33:34	方針を示していただいた。
0:33:38	藤の話なんですけれども、衛藤。
0:33:42	ちょっと前々から江藤、内野ヤマダからご指摘はしてるかもしれないですけどテスト水制度層の、
0:33:52	今、1掛け10のマイナス10乗を決めた%、
0:33:56	今までsecでしたっけ。
0:33:59	設定されてるところの、
0:34:03	その成立性の話を、
0:34:07	まずはちょっと、
0:34:09	示してもらいたいなと思ってまして。江藤。当然
0:34:16	廃棄物になるべく水を入れないようにっていうことで、素行がしっかりできてれば、
0:34:24	何でしょう。
0:34:28	今回のその設計も、いかに廃棄物に水入れないかっていうところに関しては、
0:34:35	がいいかなと思ってまして。
0:34:37	逆に1×10のマイナス10乗。
0:34:42	5の
0:34:44	機能が実はちょっと難しそうだっていう話になると、
0:34:49	今度はまたできるだけ水井を、低透水性とその上に、何ていうんすかね、残しておかないように排水槽を設けた方がいいんじゃないかとかです。

0:35:03	そういう設計の話にもう飛んできますので、
0:35:07	まずその
0:35:10	施工性だとか、品質管理だとか含めて、
0:35:14	低透水性土葬の1掛け中のマイナス10乗の
0:35:20	機能がしっかり発揮できますってところの、
0:35:24	説明を、ちょっと準備をお願いします。
0:35:32	日本原子力発電のコアシです
0:35:35	そうですね。山谷さんからいただいたご指摘の、抵抗性暴走の比率単位の話ですとか性能の話についてはこれ2月度の話ですとか専門の話、難しい方する予定で今準備を進めておりましたので、
0:35:49	そうですね今回、表紙を示した後にすぐ差額になるかもしれないんですけど、今言ったかもしれんですけど、お願いいたします。
0:36:03	承知しました。
0:36:04	長スゴウですよろしくをお願いします。それでは、
0:36:08	ちょっと、次回に向けてまずはちょっと方針に関する資料をまとめていただくってことなんですけれども、
0:36:21	いずれにしても、
0:36:24	今回ご提出いただいている。
0:36:30	パラメータ設定まで、藤芝。
0:36:34	状態住まいサーチの状態設定からモデルパラメーター設定評価結果までの話は
0:36:43	遅かれ早かれ見なきゃいけないんで、
0:36:46	今のうちにちょっと、
0:36:49	気づいてる点を、
0:36:52	お伝えしておいて、
0:36:54	次回、次回ってどうか、今後その同じ資料を出してもらう時に反映してもらいたいなって点をお伝えしたいなと思ってるんですけどよろしいですか。
0:37:08	はい。
0:37:09	算本橋ですけども、ぜひお願いいたします。はい。そしたらですね資料の1-1-1からですね、順にちょっとお伝えしていこうと思います。
0:37:22	まず、
0:37:24	1-1-1の4ページの、
0:37:29	なんですけれども、
0:37:32	フローというかですね。

0:37:34	前回その2で地質環境の状態設定までで、
0:37:40	設定した項目っていうか内容ですね、それが散歩11の方にインプットされるんですけども、
0:37:49	どこにインプットされてるのかっていうのがですね、
0:37:55	読んでいくと、
0:37:57	基本関係だったらパラメーターのところで、
0:38:01	その地下水流速だとか、帯水層の厚さだとか年間浸透水量のからみ分はラメータとかに使われてるとかですね。
0:38:10	自然現象であれば、資料1-1-2の、
0:38:16	このマトリックスの中での5ページ。
0:38:20	4ページか、四、五ページ。
0:38:22	Pこうピックアップされてる、インプットされてるってのはわかるんですけど、
0:38:27	ちょっとはそのます。
0:38:29	そもそも2ポツの状態設定で、
0:38:33	設定したものを、
0:38:35	どこにインプットしてるかっていうのを、
0:38:38	示してもらい、元に示してもらった方が、
0:38:43	わかりやすいと思うので、ちょっとそこを、をお願いしたいと思ってますがよろしいですか。
0:38:59	くみ上げた詳しいです
0:39:02	そっちました。
0:39:05	そのように炉心です。
0:39:09	もう少し次に、
0:39:11	6ページの評価フローなんですけれども、
0:39:15	おそらくその資料、この資料で言えば14ページまでのフローになるんで、
0:39:23	その15ページから27ページまでの内容のフローも、
0:39:29	ちょっと追加する必要があるかなあと考えてます。
0:39:34	通す。それとですね、(1)から(4)に記載してる、その内容と、それ以降のそれぞれの説明の内容がちょっと、
0:39:48	もう本当対応してるのかなっていうのが、
0:39:52	若干疑問でして例えば、
0:39:55	(1)だと、
0:39:57	その6ページのフローだと、

0:40:01	バリア材料の物性の自然現象による変化を考慮して、
0:40:06	バリア機能の状態を設定するってなってるんですけど。
0:40:10	7ページを見ると、バリアG oの物性と物性の内容しか北井記載されていないんで、ちょっとそのフローにおける、
0:40:23	記載内容と、それ以降のここの説明資料の、
0:40:29	内容が若干一致してないように思えるんで、そこは整合お願いしますって話を、
0:40:36	それから、とか、ちょっと読んでてですね、(3)と(4)の関係が若干とバッカーなくてというか、わかるんですけど、
0:40:49	多分、(3)は、影響の下の可能性の有無。
0:40:56	可能性ありそうなやつをピックアップしてて、そのピックアップしたものに対して(4)で影響ありやなしやっていうのをやってるんだと思うんですけど。
0:41:12	6ページのフローを見ると、フローの中では、
0:41:20	何だっけ。
0:41:25	バリアバリア物性の影響の部分、フローじゃないか。
0:41:31	そうじゃないかな。4、
0:41:39	誤算の、
0:41:43	香港、ちょっとごめんなさい。
0:41:46	括弧3で、バリア物性の影響有無を分析し、
0:41:52	って書いてあるかな。
0:41:54	有無っていうからありやなしやだと思ったら(4)でもありやなしやの話をしてるんで、
0:42:00	ちょっとよくわからんというコメントです。はい。それで、(3)はあくまで影響がありそうな可能性をピッ抽出してるんじゃないかなと思うんでそうであれば、
0:42:11	ちょっとそこも見直しをお願いしますということと、ちょっとあとは最後か。
0:42:18	6ページの(4)の、
0:42:20	ちょっと日本語が分かる
0:42:22	んで、廃棄物埋設の状態設定における評価を行い、評価パラメータを設定することによって影響を考慮するっていうのが、
0:42:31	ちょっと何をしようとしてるのかが、
0:42:34	これちょっとわからないんでもう少しわかりやすいように、文言変えてくださいっていうのがコメントです。

0:42:49	文章が0コアシさんを承知しました。修正をお願いします。
0:42:54	6ページで大塚さんありますか。
0:42:59	ちょっと。
0:43:01	衛藤岸院長、深津今はスゴウさんが言っていたいた、
0:43:08	徒歩等で、それじゃないですねため確認なんです、
0:43:13	状態設定における評価パラメーターってのがあるんですけども、このその評価プランデータ等、あと後段に出てくる通曉評価パラメーターの違いなんですけれども、
0:43:24	例えばその透水係数っていうのは線量評価パラメーターであって、その透水係数が、1000年をちょっと過ぎわかるかもしれないんですけど、
0:43:35	ちょっとどうなるかを評価するためにその覆土の陥没量を評価するわけですね。その時にいろんなところの物量を評価するための、いろんなパラメーターがここである評価パラメーターっていう整理をしているという理解でいいですか。
0:43:53	上坂さんの話です。すみませんちょっと我々の中でも評価パラメーターと線量評価パラメーターの使い分けがきちんとできていなかったために誤解を与えてしまったのかなと思うんですけど。
0:44:05	この透水係数であればこれ浸透水量を評価するために行うと評価するためのパラメータになりますので、
0:44:15	通常の評価パラメーターという説明で、経営戦略を考えたということをお我々、安全評価の線量評価被ばく線量評価に使うパラメータで例えば変換浸透水に必要なものを指して、
0:44:28	説明していくつもりだったので、少し
0:44:33	この記載については見直しをいたします。はい、わかりました。お願いいたします。ありがとうございます。はい。規制庁の大塚でございます。ありがとうございます
0:44:43	さっきのスゴウさんともかぶりますけども言いたかったそういうことで評価パラメーターと線量評価パラメータ言葉が似てるので、ちょっと
0:44:52	どういう戦略なのかってところを明確化していただければと思います。よろしく申し上げます。承知しました。
0:45:01	書記生協のスゴウです。ちょっと続いてですね、7ページ、これも確認なんですけど、中等数だと、中間覆土のちょっと厚方がいいが若干わかんなくて、
0:45:16	なってますね、確か評価上もあまりこの効いてこないんで、ここは安全機能から外しますっていう話を、

0:45:27	されてたと思うんですけど、それで表カーで今、記載されてるんですけど、この扱ってというのはどうされるんですかね。
0:45:43	病床数のコアシです。聞く集客性については、これの議論の中で安全機能としては我々考えない、要するに祖父、我々東海のL3の施設でいうと執着請求が非常に
0:45:56	提供が低い、企業としてはもう全然聞いていないというのが正しい話で、これは被ばく線量に効くようなトリチウム、クロル、カーボンのものを、この収着性を見込まない評価をしているので、そういうことになるんですけど、
0:46:12	このバリアとしてはもう小さく性というものは、
0:46:17	存在することで、安全機能としては築けないんですけど、バリア材料としては整理すべきなのかなと思って、定期自主分析の中では、整備を行いましたけど、
0:46:29	本当はあれなんですかね端的に位置付けないということであれば、そういうところがバリアバリューとはイコール、
0:46:36	ではなくて、
0:46:38	修正の整理は必要なのではないかというご意見ということでしょう。
0:46:46	規制庁のスゴウです
0:46:49	別に設計はしないんだけど、
0:46:53	材料として、
0:46:55	収着性あるから設定しますっていうのであれば、あるのかなとも思いつつ、いや、当初、江藤家評価であんま気利かないんでっていう話だったんで、評価においても、別に聞かないんだったら、
0:47:14	期待するとか、見込む必要がないんじゃないかなと思ってちょっと質問をした次第です。
0:47:25	詳しいです被ばく線量評価においても、間違いなく収着性というのを設定して、それを見込んで評価しておりますので、そういった観点でいうとバリア大の中ではこの収着性というのを、
0:47:37	影響の有無について整理をする、すべきかなと思って今整理しておりますので、そういうことであれば今の方針で、
0:47:48	説明をさせていただきたいと思います。
0:48:01	あ、すみません瀬古さんオオツカですけどもよろしいでしょうか。
0:48:08	はい。
0:48:09	ちょっと今の議論がいまいちよくわからなかったんですけども、
0:48:15	安全機能、移動抑制機能っていうのは、安全機能なんですよね。

0:48:20	安全機能、移動抑制機能の
0:48:26	移動抑制機能を、
0:48:28	を担保する物性と面収着性なわけですよ。
0:48:33	そうしたときに、収着性は、安全機能としては見込まないと言いつながら、7ページの各バリアに期待する性能のところ収着性が入ってるっていうのはこれはどういう整理なんですか。ちょっとそこ載せ多分整理学上の問題だけだと思うんですけどもその整理がよくわかんなかったんですが、
0:48:53	名称勝野コアシです。我々の施設と同一提言機能になるんですけどここは、あくまでも系透水性、ベントナイト高度に求める低透水性がなっていて、
0:49:04	収着性については安全事業は、としては位置付けていないので、
0:49:18	これを制限機能の中にも含めておりません。ただ積極線量評価の中では、収着分配係数という形で線量評価パラメーターを設定しておりますので、
0:49:29	この中では整理を入れさせていただいたんですが、
0:49:36	そうですねポスティング機能にも安全機能も入らないものまで入れるのかということであれば、もう安全管理の中では整備し過ぎたのかなというところ、今、
0:49:47	抜いてありました。以上です。
0:49:50	規制庁の山田です。ありがとうございます。どうぞ、窪さん。はい。
0:49:56	どうぞ。
0:49:57	規制庁山田です。ちょっと確認をさせていただきたいんですが、
0:50:03	地下成功って聞くのがその非収着性の学習だとおっしゃっているんですけども、それは、インベントリーとしてはたくさんある。コバルト等60選手130名そのうち9010日、
0:50:16	焼却された結果出てこないからそうなるということではないんでしょうか。そうであるとすれば、それは執着してそういった求めてるという、その機能が発揮されてる結果じゃないんでしょうかと思うんですが。
0:50:36	日本の吉浦瀬野コアシです教育のことながらコバルトベースの設置については、積極性を持つ。
0:50:44	違う収着性が期待できるという評価をしておりますので、今、我々の中では

0:50:52	それは被曝線量の中ではインベントリーが、その他の何か言うたら大きくないので、比較整理の中で効いてこないんですが、期待はしている。
0:51:06	それを、規制庁山でございますその核種について、非収着性で評価をしたときには、
0:51:15	線量としてあったのを出してくるのではないのでしょうか。
0:51:25	詳しいです。例えばなんですけど、
0:51:30	ウェブでもう説明の中では少し制御環境じゃないんですけど、それぞれのバリアに求める機能の反動にいるために、収着性をすべてゼロにした場合の評価を示してまして、
0:51:42	そういった中でも、実は最大線量を超えてくるというところへ来ない、変わらないってというのが、実際のところで困るとかセシウムとか、そういったものは、
0:51:53	例えば収着をゼロにしたとしても、今の線量被ばく線量評価が変わるものではないです。
0:52:15	ただ、すいませんそれから確認をいたしますが、そういうインベントリーの観点からも他が効いてこないということであればですね、
0:52:26	それでは、
0:52:30	そういう主張されてもいいと思うんですが、
0:52:38	まずもってましてありがとうございます。ちょっとあの、そうですね
0:52:44	今、我々要するに収着分配係数を見込まなくても被ばく線量評価は変わらないという結構思ってるんだけど、もしこのバリア材の物性の中で、この収着性をどうのこうのって綺麗にするのは、まずやり過ぎた感があるのかなと思いますのでその辺今いただきました。
0:53:00	コメント踏まえまして、見直しをさせていただきたいと思います。
0:53:07	とりあえず山田さんも、
0:53:08	境界設定はP H I T Sだと言ってるわけだから、ないんですけども、
0:53:13	どこまで重要性持ってやるかというところは軽重があり得るということを申し上げたということでございます。
0:53:23	と確認しますが一般的には、収着性の核種で、インベントリーが多くて、
0:53:33	放っておけば全体的な毒性が高いものが多いことが多いんですけども、
0:53:40	このことに、そういった各週は収着性であって少しずつしか出てこないもので、地下水移行経路においては、結果として、インベントリーが相対的に低いけれども早くくし収着性核種が、

0:53:55	頭を出すことが多いのでそれに対する対策を追加で検討することが多いと思います。
0:54:02	いうことはよく処分のところでありますので、
0:54:06	ずっとこれ重要なのは、インベントが高い。
0:54:13	けれども、集約して出てこない核種ということについては、確かにその執着をして出てこないんですよということ自体ですね、あまり頭から当たり前に戻して受入れるんじゃないかとちゃんと確認をして、
0:54:28	機能として入れる必要があるということを申し上げています。それが、いや、この場合であれば、もともとインベントの観点からも頭を出すものではないということであればですね、そこの扱いが若干悪くなっていくということはあると思います。
0:54:49	イメージは前のコアシです。ありがとうございます
0:54:53	そうですね。2、比較した方の東海林さんのまさに非収着性の各週であるスプリティングプローブカーボン等が、インベントのそれなりにあって、聞いているというところがあって、一方で、今度CSのようなものは収着性がある。
0:55:10	ただ、メモリーはあるんですが、被ばく線量評価としては、効いてこないというところがあって、ちょっとその辺の影響の程度を踏まえながら、
0:55:21	ここの整理を再検討をさせていただきます。基本的には
0:55:26	今言われた意見を超えるとバリア材の物性を、の影響をここで整理するのは、少し
0:55:36	やり過ぎたのかなという感を受けてるんですが、ご意見ありがとうございます。
0:55:44	基本消火手順のハウチンです。すいません。ちょっと今のところを私の方からも一つ確認させていただきたいんですけども、今ご指摘いただいたところは7ページのところの、
0:55:54	重点は中間覆土のところが設計のところではロス低減機能に位置づけるのか否かというところの議論をさせていただいたので、それに関してさらにこの収着性で書かれてるところに、
0:56:07	今を持たれたという理解でいます。一方でですね今講師がご説明していた部分というのは特に人工バリアのところとして位置づける充填した中間覆土の収着性の観点での話でして、
0:56:20	天然バリアとして
0:56:23	B S Oですとか帯水層こういうところにあるところはもともとそういう収着機能を持つような土砂がある前提で評価をしておりますので、こう

	<p>いう観点でいくと、このB S O帯水層という天然バリアの部分については、この影響事象分析の中では、</p>
0:56:39	<p>収着性というところの観点で整理はした方がいいかなと思っているんですけどその理解でよろしいでしょうか。</p>
0:56:47	<p>規制庁のスゴウです天然バリアは、す。それでいいですもうそもそもそこに天然としてあって、</p>
0:56:56	<p>それに期待するものなので、</p>
0:56:59	<p>それは構わないです。</p>
0:57:02	<p>日本原子力発電のハウチンです。ご回答ありがとうございます。今そうすると人工バリアのところの収着性というところ、</p>
0:57:10	<p>に疑問を持たれてるってとこなんで</p>
0:57:14	<p>講師がご説明した内容と運営踏まえまして我々の方でもちょっともう少し整理を、</p>
0:57:20	<p>をさせていただこうかと思えます。以上です。規制庁の凄さはいい。よろしくをお願いします。そうしたら次8ページにまして、</p>
0:57:31	<p>まずは大塚さん。</p>
0:57:35	<p>あります。</p>
0:57:40	<p>はい規制庁の大塚でございます。ちょっと8ページ単純な確認だけなんですけれども、8ページの柱書のところに、廃棄物安全小委員会のフェッドリスト等国際フィックリストから、</p>
0:57:55	<p>持ってきて営業所分析をしましたっていう書き方になっていますけれども、確認事項はですね、配布3000省への報告書等、</p>
0:58:06	<p>O E C D / N E Aの国際プリーストってのは、これトレンチ処分のようなその深度が浅いももう対象としていましたでしょうか。ちょっと確認です。</p>
0:58:18	<p>日本原子力でのコアシです。今ご指摘がありましたように、必ずしもS Rのような非常に浅いところの処分施設を対象にしているものではないんですが、我々としてはこういったものを参考として、</p>
0:58:33	<p>これ地層処分とかもう少し中深度処分での肝臓濃度と、そのそれぞれの分類のところ合わないところあるので、</p>
0:58:44	<p>我々のトレンチ処分に適用できるところだけを参考にさせていただいて選定を行うということでございます。</p>
0:58:54	<p>はい規制庁の大塚です。ご回答ありがとうございます。</p>

0:58:58	そうしたときに、もちろん深いところを対象にしたセップリストでも、例えばその廃棄物に起因するような事象とか共通的なものがあると思うんですけども、他方
0:59:09	トレンチでの地表に近い、地表の擾乱を受けるからこそ、想定しなきゃいけないようなものってのはそのフィックには入っていないのかなとも思ったんですが、
0:59:20	そういったところは、独自に抽出されて整理をした上で最終的に営業所分析をしているという理解でよろしいでしょうか。
0:59:29	日本原子力発電の小橋です。部長そのプラスアルファとして、トレンチ処分に考えるスペック事象というのを、我々の文献の中からハウチン、
0:59:40	選定しまして、整理したと考えております。
0:59:46	はい。規制庁の大塚でございます。わかりましたありがとうございます。そうですね。トレンチ処分特有のものが、
0:59:53	として何を中止したのかってのは、資料1-1-1では、ように書かれていないような気がして資料1-1-2でも、
1:00:05	本当の
1:00:11	ちょっとすぎっと見たところすぐには、これ、ふーカッコそうなんですかね。
1:00:18	きっと何か例えばこれですっていうのがあれば、ちょっと紹介いただくとありがたいんですが、ありますでしょうか。
1:00:25	ちょっと、
1:00:32	待ち時間もあれなので、もし今すぐなければ、ちょっとそのトレンチ処分特有のものも中止抽出したというのは、資料1-1-1の
1:00:42	どこかに明示しておいていただけるとありがたいと思ってます。
1:00:47	上条勝見コアシです抽出しました。少し内容見て、どういったものを挙げるべきか、対応したいと思います。ありがとうございます。はい。
1:00:57	はい。よろしく申し上げます。規制庁の方ですけども私もちょっとフィルター交換です。
1:01:07	すいません規制庁のスゴウですけども、今ちょっと小塚からのコメント等、一緒なんですけど、要はちょっと結論だ形、選定したっていう結論だけが8ページ示されてるんで、
1:01:20	ちょっと選定の過程も含めて、ちょっと内容を入れてもらいたいなと思います。
1:01:27	あとですねこれ単純なあれなんですけど、この8ページの表の、この下線引いてあるのとないのと、

1:01:35	この下線ってなんか、何の意味があるのかちょっと教えてもらっていいですか。
1:01:43	井上小学校のコアシです。1000枚はですねこの廃棄物等提供推進部システム食料等周辺の地盤の三つのこの縦のカテゴリで共通のものは、線を引かずに、
1:01:58	特異的にその分野、そこだけあるようなものを、ここだけをまず目立つように、共通ではないものを、線を引かせていただいたということです。以上です。
1:02:10	規制庁宗です。わかりました。
1:02:12	ちょっと、
1:02:13	もし、
1:02:15	次回あれするときは、河川だったり、
1:02:19	知ってるのは南米、
1:02:21	何回か。
1:02:23	書いといてもらえればありがたいのでよろしくお願いします。
1:02:29	条例昭和天皇アセッサーすいません。説明が不足しております。申し訳ありません。そのように今後、他の指導についても同じような視点で修正をしたいと思います。以上でございます。
1:02:43	生協の堀田です。私もちょっと8ページのところで、私はもうすごい簡単なところとか記載クリーの話なんですけれども、
1:02:54	8ページの文章のところですね、二つ目のポツのところ、国際ヘクリストから、関連するチェックリストとして234
1:03:05	を選定したっていうふうに書かれているんですけどこれー、この2廃棄物印紙34の石井の話ってというのは、これはね思慮に該当する番号ということでよろしいですかこの資料の中にこういう
1:03:23	に廃棄物印紙とかそういう項目立てをしてるっていうわけではないですよ。
1:03:29	ていうのはこう見ると、この中の資料に該当する話なのか、その大本の資料の話なのかっていうのが少しちょっと混乱してしまったのでここは記載ぶりだけだと思いますけれども、これはもう元の資料の話ということでよろしいでしょうか。
1:03:46	日本原子炉安全コアシですおっしゃる通りこれは大本の資料の方で英文になるんですけど、それを日本語にして、すぐ2とか3とか4はその大園資料の9番、すいません、ここも少し混乱しないような書き方になっていて、説明が足りなかったかと思います。

1:04:03	ありがとうございました。わかりましたちょっとマクリーについてはこれ、これ因子に関係するところを、へ、
1:04:11	冒頭の文章からへ、選定したってということだけでいいかと思うのでこの2ポツ3とか、2ポツとか3ポツとかは、
1:04:19	なくてもいいのかなと思うところ、それをおまかせします。
1:04:26	農業生活の形で承知しました。
1:04:31	規制庁の山田でございます。8ページ以降、10成立以降のところもそうなんです。ここの整備のところなんです、
1:04:44	見てみさせていきますと、
1:04:48	影響を基影響先というところについて、基本的にその私営機能を持っている人工バリアのところを、
1:04:57	その機能も保守性1閉じ込め移行抑制、遮へいも含めてかもしれませんが、そこも人工バリア層だけを限定して書かれているように思われます。
1:05:10	それらの層が安定して、性能を発揮するためにはその消費の層が、その環境を守るといふ浸食お守りであるとか、先ほどの紫外線の
1:05:23	影響、
1:05:25	草間とか麻生行ったところで働いている必要があるはずですよと云っても、
1:05:32	今回の規制基準の
1:05:35	ってか、改正の中の議論のところでもずっと議論をしてきておりますさっきそのメントラ機能とそれをサポートするための、守るための機能、そういったのがある。
1:05:47	そう考えると、そういったその処理の総合についても、ちゃんとピックアップしてですね、そこの後の現象がどうお互いに影響してるのかということ、
1:05:57	網羅的に整理するのがここの場所じゃないかと思うんですが、今見ますと、
1:06:04	所々
1:06:06	なんていうか、
1:06:08	機能ついたところが書かれているような書き方をされているようなふうに思い、見受けられますので、
1:06:18	棚上げ、整理がされるべきじゃないかと思いますがいかがでしょうか。
1:06:25	まず、S業務主幹清野コアシです。ご指摘ありがとうございます。綾部さんがおっしゃられるように、確かに及びバリア機能バリア材料に着目

	しての整理を行ったので、今言われたように、そのバリア概要を守るような、
1:06:40	我々しても、所層とか、そういったものが該当するのかなと思うんですけど、そういったものに対する、
1:06:48	分析が少し説明としては不足しているのかなというのは、
1:06:52	ご指摘の通りだと思いますので、我々の方で見直しをして、追記するようにしたいと思います。ありがとうございます。
1:07:00	よろしくお願いします。
1:07:02	関連してコメントさせていただきたいんですが、もう、
1:07:08	これを今アプローチされているのは、
1:07:11	要はボトムアップのアプローチで、隣接する隣の宗の間での総務債をずっと書かれているんだと、宗野中及びその隣接するところの関係を書かれていると思われませけれども、
1:07:27	重要なですね、こういったことをやった結果として、施設の案成立性または安定性に重大な影響を及ぼすような現象の連鎖が、
1:07:41	どこにあるのかということ、ちゃんとその抽出をするということが重要だと思うんですが、
1:07:48	そこんところはですねあまり書かれてないように感じます。
1:07:53	こういう例がうまくせるかどうかわかりませんが、風が吹けばOKがもうかるみたい話があると思いますけれども、App直接書いてるのは、
1:08:04	風が吹いたら曾根を痛める人がいますとか、ねずみが増えたら、大きな穴が開きますとか、いうことを書いてるんだって。
1:08:13	それをずっと続いたときにその数が増えた時に保険柳川区というところがちゃんと繋がるかどうかというのを見る、それが大事だと。
1:08:24	ね、今狩野元さんが言われてる資料は、そのリンクがここで切れてるかどうかっていう判定だけをおそらくされているように思われませけれども、
1:08:37	100%切りというリンクだということを示されればそこはそれで棄却しても構わないんですけれども、
1:08:45	そういったところを枝葉を切った上で、重要なものがどうなのか、なしは
1:08:53	見つけ出したリンクを辿ろうとしたときに、そのし、同時に周りの状況も変化をしていますので、そういったところをどこまで考慮する必要があるのか。

1:09:05	そこはあまり関係してないと思っていいのかっていうところを見直すために、この
1:09:12	1 っって使っていきますので、そういったおそらくそういった検討されてると思いますが、それを表に出してですね、今選ばれている、その検討というのはどういうものなのかということ、
1:09:26	整理を示していただければと思います。
1:09:32	柴崎コアシですご指摘ありがとうございます。確かにこの決定事象の影響について、のみ説明に終始しているので、関連というところに関して言うと、もう少し我々の方で説明が不足していたのかなと思いますし、先ほど
1:09:50	のコメントがありましたように、プラザ以外のところでも、この協定を入れるとPOな関連リンクというのが出てくるので、今いただきましたコメントを踏まえまして、少しこの
1:10:04	影響事象分析の表については豪州に説明をもう少し追記させていただきたいと思います。ありがとうございます。
1:10:14	規制庁の盛田です。江藤じゃ続けて行かせていただきますけれども、9 ページ、次の9 ページのところ、1 点コメントがありまして、えっとですねこちら9 ページ、表の中で、疫学とカクウについての影響事象分析で、考慮すべき事象を、
1:10:33	抽出しているような形となっておりますけれども、
1:10:37	ちょっと1 点ここで確認させていただきたいんですけども、カクウの方ですね、分析結果として、コンクリートのやつであったりとか金属腐食もモリタナリ、モンモリロナイトの溶出でコロイド有機物に西部通で津波ってというような形で、
1:10:54	抽出がされているんですけども、
1:10:58	こちらはですね資料1-1-2 のところで影響事象分析をした結果としてこういうふうにピックアップをされているかと思うんですけどもですね。
1:11:09	資料1-1-2 の6 ページと7 ページのところに、科学の分析結果が示されているんですけども、
1:11:19	こちらを見るとですね、先ほど申し上げたようなモンモリロナイトのよ、溶出であったりとか、微生物だったりとかの影響だったりとか、抽出はされているんですけども、
1:11:31	こちらの資料1-1-2 の第6 表、例えば第6 表のところ6 ページの第6 表のところですね、

1:11:39	真ん中の収着性の真ん中の列のですね収着性のところの一番下の段のところですね、低透水性と相当不動のところでは化学影響に関して、
1:11:54	pHの変化であったりとか酸化関係は、環境、環境の変化であったりとか、そういうところで、最終的に重点さあ中間覆土の収着性に影響する可能性があるというふうな形で影響ありという形で整理をされております。その他にもですね、
1:12:11	次のページの第7表のところでも、地盤の化学特性というところで、収着性に影響がするっていうような整理がされています。でもこのこれについては地盤の、その右どなりの地盤の方でも、
1:12:24	地震の収着性に影響する可能性があるっていうふうな整理がされています。
1:12:28	集客性に対する影響について、ここで整理、資料1-1-2の方では整理されているんですけども、戻ってですね資料1-1-1の9ページのところの表では、
1:12:41	この収着性に影響するっていうふうに整理した、化学物質の移動であったりとか、pHの変化であったりとか、そういうところの影響についてが、ちょっと抜け落ちているように感じるんですけども、ここで、
1:12:56	実証分析の表の中で整理したものが、ちょっとこっちな、入っていないっていうところについてはどうということか、説明いただけますでしょうか。
1:13:12	日本原子炉風のコアシですご指摘ありがとうございます。あと先ほど山田さんのコメントにも関連するかと思うんですけど、営業一部連携はこのこのペーパーの中で抽出したものを、我々、
1:13:25	どういった全体影響するかというところをまとめる段階で、少し今いただいたものはお答えさせていただいたところがありまして、具体的に言いますとコンクリート廃棄物の溶脱の影響に、包含されるようなところだろうということで、
1:13:41	まとめてるところあります。既そういった意味で少し我々関連とかそういった整備のところ、
1:13:49	詳細説明できていないのかなと思いますので、今ご指摘いただいたところも含めて、少し繋がりがわかるように、ご説明を加えたいと思います。
1:14:01	それでよろしかったでしょうか。
1:14:13	ページのモリタです。わかりましたじゃ繋がりの話っていうところで包含関係っていうところも含めて、影響を考慮する時にはこの影響、この事象について考慮するっていうところで、マネージャーというところ。

1:14:28	繋がりのところも含めて考慮できるというところについては改めてご説明いただければ、ご説明いただければというふうに思います。よろしくお願いします。
1:14:38	9 ページについては以上となりまして、
1:14:44	次 10 ページ。
1:14:48	規制庁スゴウ 10 ページで大塚さん、よろしいですか。
1:14:54	はい規制庁の大塚です。
1:14:57	えーとですねすいませんちょっとこれも単純な確認だけなんですけれども、10 ページのその鉄箱、金属の腐食とガスの発生のところなんですけど、
1:15:05	衛藤。
1:15:07	発生したガスは都築層抜け通って抜けるっていうふうに設定してるんですけども、他方で酸素の供給については浸透水による供給のみ
1:15:17	考慮してるっていう設定なってるんですけども、それはなぜでしょうかこの廃棄物埋設 C。
1:15:24	埋設地が廃棄物層は、塗布不飽和層になると思うので、江藤、北井城。
1:15:31	でも供給もあるかと思うんですけどもそれを考慮していないのは、何か理由があるんでしょうか。
1:15:39	運営センター長の土橋です。基本的には前っちは勉強にこういうことで工期が出てございますので、ある程度散水を消費すれば、これ、今言われたように、
1:15:51	麻生でございますので、下の地下水から今日泣こう運ばれてきた酸素が上に上がって、
1:15:58	このプロジェクトに供給されるという文化があるのかと思うんですけども、
1:16:03	そういった影響も小さいと考えて、少し評価が抜けていたのかなと思いますんで今おっしゃられたところをお話して評価できるかと思うんですけど、
1:16:15	少し検討したいと思いますありがとうございます。
1:16:20	はい。よろしくお願いいたします。
1:16:30	ちょっと山田さんお願いします。
1:16:33	基本的に同じ話なんですけど、やはり封ワー基本的 2、北井は通過する、そう。
1:16:46	だと。
1:16:47	いう認識ですので、

1:16:50	今評価をですね
1:16:53	最初にあった期待とそれから浸透水に含まれる酸素のみで腐食してると いうふうになっているんですが、
1:16:59	そういうふうにいけば、難しいんじゃないか。目黒層はですね、実際
1:17:08	たくさん水を使えば、それなりに菊池審議を抑制はすると思います。あ ると思いますし、
1:17:18	ソクホウの方から、地下水の上にありますので、そっからの気体の流出 当然ありますから、何か上期になるかっていうと、
1:17:31	増子と必ずあるとは言えないものだというふうに思いますので、よくご 検討いただければと思います。
1:17:43	イノベーショングループの小橋です。試食しました。
1:17:48	この中でのごあいさつとうちの人間性雰囲気になるという趣旨であり ますが、少しその辺がないかどうかというのは見直しをして、評価につ いて検討したいと思いますありがとうございます。
1:18:03	はい。よろしくお願いします。関連しましてある意味Mの腐食の話もあ るんですが、アルミニウムわあ量が少ないっていう話があるんですけども、 アルカリ水と接触した時をですね腐食速度は、
1:18:18	腐食より多分析違いに数桁おっきいはずですので、
1:18:24	そうしますと、発生ルール自体は必ずしも小さくないと思います。そう したときに、
1:18:36	先ほど、衛藤邸と水制度側と言ったそうですね。そういったところが、 ガスが抜けないということになるとですね、それはそれで、
1:18:46	安定性に問題が起きる可能性がありますので、発生量の検討をされる か、
1:18:54	受けることの検討をするか。
1:18:59	場合によればガス抜き機能穴を開けることを検討するか、そういうこと が必要じゃないかと思います。そういった意味で、
1:19:09	S a a Sに入ってくる場所ないかという問題、それから貫けるか抜け ないかっていう問題は、同じ
1:19:18	特性を逆から見てる時になりますので、整合性を持って見るのかないし は、それぞれ星が見えるのかということが必要だと思いますので、今の 検討はむしろ、
1:19:31	どちらかという、都合のいい反対方向に見ているようにも見えますの で、そこの検討が必要だと思います。

1:19:42	曾根重松の詳しいですちょっと腐食に関しては少しすごいところ見てるんじゃないかという指摘が
1:19:52	を踏まえまして、真野宮下と思うんですが、丸井に関して言いますと、これ確かにアルカリ環境下に置かれると水素ガスが激しく発生するっていうのは、示しております、
1:20:04	これ我々そのアルミが省令だけではなくて、これをコンクリート廃棄物を一緒にして埋設しないということで、分けて、
1:20:14	それぞれを前提としておりますので、そういったアルカリ環境下に置かれる研究会に置かれるのは、どちらかでコンクリート廃棄物を埋設するトレンチマップで、
1:20:24	三上こういった海を提示するところは金属層の金額だけを提示するトレンチになりますので、価格になりますので、そういった現象はもう、
1:20:36	考慮していないということでございます。
1:20:41	規制庁ヤマダでございます。
1:20:44	もちろん対策として有効な対策食うじゃないかと思われませんが、そういった管理をするということは、しっかりと宣言をされてですね、これが、
1:20:59	そのあとの後段規制の、
1:21:02	ていうか何だろう。
1:21:04	本規定ですか、使わなくても、しっかりと宣言をされるのが重要かと思えます。
1:21:15	日本ヒロタ前の人たちです整理しますと、一応中計の中ではそういったアルミ等コンピューターを分けますということを期待していたかと思うんですが、もう少し
1:21:28	この資料のところでも関連する部分についてはそういったことを述べさせていただいて、明確にしたいと思えます。ありがとうございます。
1:21:40	それでは三井。
1:21:49	ページです。
1:21:52	本ロードの県警による透水性の変化というところでは。
1:22:03	10月、10月の配分ですとそれほど大きくありませんのでそれほど膨張しないであるとか、それによる変形は、書類である溝手川、
1:22:14	少ないであろうというそこは、そういうことかなと思っております。その上で、先日来の繰り返しになりますが、
1:22:25	改めてその補足説明資料3添付する1-13に示されているようなグラフを見ますと、

1:22:35	10-10 乗メーターパーセクっていうのは、グラフ上では、まさに測定値の最確値なんですかね、そういうものを使っているの、
1:22:45	これが管理される値とするためには
1:22:51	相当な積み上げが必要かと思しますのでそこは引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。
1:23:02	所達のコアシですベルギーの部分の品質管理ですとか、設計目標に対する妥当性というところは、承知しました。引き続き県政を進めて説明する例を説明するようにしたいと思ひます。ありがとうございます。
1:23:22	規制庁の丸田です。続けて聞かせていただきますけれども、12 ページのところですね表、第 3 の 5 章の、
1:23:35	ところで 1 点ちょっと確認なんですけれども、⑥空のところですね、こちらの何て言うのよつづの記載がありますけれども、
1:23:47	こちらですね影響評価のところの下の方、下から 3 番目のところですね下線を引いてある部分ですね、カルシウム成分の移行っていうのが、震度水の流れと逆らった拡散移行となることから、
1:24:03	影響は小さいっていうふうな理由が書かれておりますけれども、
1:24:07	線量評価であったりとか浸透流解析の結果によるとですね覆土内の透水量っていうのが、0.001 メーターパーイヤー、
1:24:18	1 回かなり遅い流れになってるっていうような、解析上の結果にはなってるかと思ひます。で、理由としてはすっごく遅いような流れとなっておりますけれどもそのような、
1:24:32	状況で、逆流しないっていうようなことがいえるのかなっていうのがちょっと疑問になっているんですけれども、こちらについてはいかがでしょうか。
1:24:46	日本主査津野河内ですご指摘ありがとうございます。確かに食部からの浸透水量というのは非常に質量が少ないんで、
1:24:56	水の流れとしてそれぞれ考えていたんですけど量を踏まえてどうかっていうところは、持ち帰り検討させていただきたいと思ひます。ありがとうございます。規制庁の方です。承知いたしました。そちらについてはちょっと加来さんといろいろ速度と金をかけて、少し検討いただければと思ひます。よろしくお願ひします。
1:25:18	規制庁ヤマダ。
1:25:21	どうぞどうぞ。
1:25:23	河内さん、どうぞ。失礼しました。
1:25:28	失礼しました規制庁ヤマダでございます。13 ページ G のところのコロイドのところにつきましてです。

1:25:36	衛藤。
1:25:37	これのところを、気になるところですので適切にご検討ください。やはりその、
1:25:44	低透水性塗装の下がですね、木曽層なんですけどこれがそんな材料でありますので、
1:25:54	各、その間にフィルター層がある。
1:25:57	というくせがされていませんから。
1:26:00	ライト粒子が、コロイド状になって、その廃棄物層中を流下するっていう可能性っていうのは、ピックアップすべきものだろうというふうに思っています。
1:26:13	その上でですね、影響がないとされているのはこれ
1:26:18	先ほどの
1:26:20	中間覆土に収着性の機能がどうかという話と実はほとんど同じ話なんですけど、
1:26:28	非収着性の各州についての話で越されているんですけども、収着性能核種のコバルト 60 とかセシウム 137、40 年、
1:26:40	90 のような核種が、
1:26:44	執着した結果によって、影響が小さくなっているの、
1:26:50	というのが
1:26:52	普通に一般的にですね、想定されるので、そういったものに対する影響が大きくなりませんよということをここは議論すべきであって、
1:27:02	非収着性の核種についてはボルトの影響をもって、説明するっていうのは、足りないんじゃないかなと思います。
1:27:12	加えますと、先ほどお話ですと
1:27:16	中間覆土等のところについては収着性を見ない評価もして、影響が頭出さないとされているんですけど、
1:27:26	天然バリアのところについては、
1:27:32	評価に、
1:27:33	を考慮して評価をされているようなご説明じゃなかったかと思いますので、
1:27:40	どこまで影響するのかということございますけれども、
1:27:45	原理的には、あの頃移動に付着した状態のまま、天然バリアの部分もあまり収着をせずに移行するということにもなるかもしれませんので、
1:27:57	そうすると先ほどの説明で、成り立つのかどうかということも検討が必要かと思います。

1:28:08	名称活動のコアシです。ご指摘ありがとうございます。もしご検討のところの影響についての説明を、
1:28:17	付け加え必要があるのかなと思いますので今いただきましたご指摘がございまして、お願いしたいと思います。ありがとうございます。
1:28:39	オオツカさんもし 13 ページありましたら、
1:28:45	すいませんちょっと見えたりしました。衛藤先生、規制庁の大塚でございます。記載ぶりだけ 1 点なんですけども、⑧の有機物影響のところなんですけど、
1:28:57	α 核種に対する有機物の影響が小さいって書いてあるんですけどこれって、 α 核種による線量への寄与が小さいから、噴気物の影響そのものは大きいんですけども、もしします。要は考慮しませんという、
1:29:14	そういう主張だと理解してよろしいですか。
1:29:19	日本終活のプラスですそうですね利益に関しては、整備ベースですが、爆心には影響があるんですけども、そもそも線量評価の中では、非常に小さいもので提供しないというふうな説明をさせていただいております。
1:29:35	はい、衛藤規制庁の大塚でございますわかりました。そうしますところの一番下の文章が、有機物の影響が大きいものとして挙げられるのが、その α 核種なんだけれども有機物の影響が小さいからっていう文章になっているので、ちょっとそこは修文だけお願いします。
1:29:53	連携小学生のコアシで承知しました。ありがとうございます。
1:29:59	えっと、
1:30:00	続きまして 19 ページなんですけれども、陥没評価のところなんですけど、
1:30:07	解析モデルとして東側のトレンチが全量鉄ば超え、
1:30:12	が入ってるとして、それが腐食し、
1:30:15	それが下の陥没したと聞いの方が保守的というご説明になっていると思うんですけども、
1:30:22	江藤スタッフ何ですかねコンクリートと鉄箱を入れた区画が市松模様みたいになっていて、せん断力が働く。
1:30:32	場合の方がせん断力が働くようなケースってというのは
1:30:37	検討された上で全量てつば方を保守的と置いてるんでしょうか。ちょっとその解析の
1:30:43	前提条件の確認です。

1:30:47	保健所発電の河内です大上ありがとうございますの解析につきましては、コンクリート層は、密度が人を超えるもので、ます。
1:30:59	要するに地盤と周りピットスマート同等の密度と考えておまして、基本的にはコンクリートとかで陥没が起こらないんで、欠落の中では陥没がもしかしたら空隙あるのが起こるかもしれないということで、
1:31:12	ただ、結果的には全体がこう陥没する方がということで評価しておまして、今言ったように、金属とコンクリートを互い違いにするのは、すいません
1:31:25	基本的には陥没量を強制的に変位させるときが 48 センチというあたりで印刷した時には、
1:31:34	埃、我々の今の解析の結果でいうと、せん断が起こるのは要するに一番端の
1:31:41	チーフでございますので、そういった同じ現象が、例えばコンクリートの一番の大事であろうと思いますが、
1:31:54	すいませんそこまでの解析の中で確認してるわけではなくて、我々としては同じ現象が起こって同じ程度の影響で本部、解釈しております。
1:32:06	わかりました。江藤そうですね分画部のところ、2002、なんつうかね穴があくというか、影響があるので、
1:32:15	隣同士が違うものだもそういった影響領域が全体に広がるのかなと思ったんですが、とりあえず、今現在やっていることは理解いたしました。ありがとうございます。
1:32:34	山田先生お願いします。
1:32:40	すみません、携帯モリタです。見て続けて 29 ページのところまで 1 点確認をさせていただき、確認というかですねこちらはちょっと、
1:32:56	お願いしたことなんですけれども、
1:32:59	ですね、29 ページのところですね、選挙線量評価モデルについて、出てきたものがどういう経路で広がって町であったりとか海であったりとかっていうところに行くか流れていくかっていうところが、
1:33:15	示されているんですけども、あのですねこっちーに加えてというかこの図に加えてっていうことではないんですけども、最終的に被ばくをする日等が居住者であったりとか、農業従事者であったりとか漁業従事者であったりとか、
1:33:33	そういう対処するする日等が参ってですね、それぞれ広がっていったこの核種ってというのが、摂取するものですね、水利用するか土地利用するか。

1:33:46	農作物を摂取するかっていう被ばく経路自体も、最終的に行き着いた場所から、誰がどれを摂取するかっていうのは、ちょっと異なってくるかと思います。
1:33:58	土地利用した時の外ばく内ばくで水利用するときのがよく内ばく、家庭菜園の馬な大学内ばく、
1:34:12	そのあたりですねどこから被ばくする対象とする人が、どこか被爆するそのヒロくうの経路っていうところについても、
1:34:22	少しわかるように整理をしていただけると、理解しやすいかなと思いますがいかがでしょうか。
1:34:34	日本原子力発電のハウチンでございます。今のご指摘ありがとうございます。おっしゃる通りかと思いますがイメージとしてはあれでしょうか
1:34:44	先月の審査会合でお示した比嘉空小須磨生活館の状態設定の中で最後被ばく経路の設計をしてございますが、ああいうものを、
1:34:55	ここにつなげてというようなイメージでよろしかったでしょうか。
1:35:02	以上です。
1:35:05	ちょっと前回の資料を確認します。
1:35:22	当然、前回の状態設定の資料、
1:35:30	そうですねこちらに書かれているような海産物摂取に伴う被ばくであったりとか、農業に伴う被ばくであったりとかそういう整理をされているかと思うので、その
1:35:44	例えば、A B C D E F っていうような形で、前回の補足説明資料の中でも整理されてる、大学でやってる科学であったりとかっていうところを、
1:35:56	この被ばくの経路自体も、整理されてるかと思しますので、
1:36:01	土壌中の濃度が、
1:36:04	内ばくに効くのか外殻にくいのかっていうそこそこの繋がりと、あとは最終的な被ばくをする人っていうのが、内部被ばくどれを足し合わせたものが最終的な線量評価結果として、
1:36:18	出てきたグラフグラフ自体が、どれとどれとどれを足し合わせて、最終的な結果となったかっていうようなところが、少し表にする数にするかっていうところあるんですけどもわかるようにしていただければというところのお願いになります。
1:36:35	そうですね以前お出しいただいた資料の中でも星取表みたいな形で書いていただいているかと思えますけれども、そこに少し比婆食う

1:36:48	核種が、土壌に移行したか水に移行したのか、海に移行したのかっていうところの、その繋がりがわかるようにしていただければっていうようなところになります。
1:37:02	日本原子力発電の堀田でございます。
1:37:05	コメントの趣旨は理解しました。ちょっとに移すとなる、入れるとなると難しいと思いますんで例えば、最終的に気づいてる領域DFのところ、被ばく経路とどう繋がるかというところを、
1:37:18	補足の情報を入れさせていただこうかなと思います。以上です。社長の成田です。今おっしゃっていただいた整理のされ方で問題ないかと思えますので、私おかけしますが、そちらの方をお願いいたします。
1:37:33	日本原子力発電のハウチンで承知しました。
1:37:43	規制庁の大塚でございます。同じく29ページでちょっと一つ教えていただきたいんですけど、
1:37:50	自然事象シナリオの跡地利用の居住者の住んでいる位置が、廃棄物埋設直上ではなくて衛藤線量評価のパラメータ設定を見ると、
1:38:03	廃棄物埋設地からの流出するところの下流丹直近になっていると思うんですけども、これ当初8月でしたかね、一番最初に出していただいた資料だと上に住んでたように記憶してるんですがその設定を変えた理由というのはなぜでしょうか。
1:38:20	日本原子力発電の方でございます現在の木曾プールでいきますと規則解釈の要求でいきますと自然事象シナリオ、人為事象シナリオで跡地のトップ上利用、自然事象シナリオはそこから流れ出たところの利用というふうに理解しておりますので、
1:38:38	基本的にはちょっとこの絵図だとですねちょっと距離離れておりますけれども、地下水移行によって移行した先での土地利用での被ばくを考えるべきというふうに理解しております。以上でございます。
1:38:53	鳥栖講師、規制庁の大塚でございます。ちょっともう少し補足していただきたいんですけども今現在選定してる時というのは、廃棄物から埋設地から流れ出てきた放射性核種が地下水で濃度が最大になるところが、埋設地の下流他の直近なのでそこで設定してるということでしょうか。
1:39:13	日本原子力安全のハウチンでございます。その理解で結構でございます。
1:39:18	はい、わかりましたありがとうございます。
1:39:20	ですね。
1:39:22	続いて33ページなんですけれども、

1:39:25	線量評価パラメーターの設定のところ、
1:39:32	等、
1:39:35	被ばく線量への影響の程度は大きいもの、または、設定値の不確かさが大きいものについては、
1:39:43	ところ保守性を考慮して、最も可能性が高いシナリオと最も厳しいシナリオで異なる設定としていてそれ以外については共通の設定にしてるっていう記載になってるんですけども、
1:39:55	その線量評価パラメータの感度の対象について、感度解析的なものってどこか資料に示されていましてでしょうかちょっと見当たらなかったの で確認させてください。
1:40:21	日本原子力発電のハウチンでございますちょっと例えばちょっと資料を確認し、してますのでちょっとお待ちください。
1:40:37	賃料じゃない。
1:40:40	そうです。
1:40:47	えっと2本目だけ防止です。当該の感度解析の結果については、今の結果については、参考資料の2、資料の
1:40:59	1-1を示してございます。パワーポイント資料の方にはちょっと面積は記載はしていないという状況になってます。
1:41:14	既設のオオツカでございますありがとうございますちょっとすみません見落としてたなら申し訳ありませんでした
1:41:20	ある。
1:41:21	細かい解析なると思うので、パートに書く必要ないと思うんですけども資料1-4の内容を確認させていただきます。
1:41:50	とって、
1:41:51	森田さん。
1:41:54	すいません規制庁の岡です。看取りあって、すいません。はい、えっとですね、34ページのところで続けてコメントさせていただきたいんですけどもこちら記載フリーというか記載内容の問題かと思えますけれども、
1:42:12	えっとですね、34ページの左下のところで、浸透水量解析結果っていうところで、0.001と0.03というようなことが記載されているんですけども、
1:42:22	こちらはこの図、フローから見ると、解析結果としてこういう数値が出てきているように見えるんですけども、

1:42:30	これは設定値としてこれを採用したってということですよ。解析結果は確か 0.0002 とかそれぐらい、1 桁小さいような、
1:42:42	値でそれをもう踏み込んでこういうような数値を設定してるっていうような認識でいたんですけども、いかがでしょうか。
1:42:54	日本原子力発電のハウチンでございます牟田さんのご理解の通りでございます。ここは解析結果ではなく設定値になります。修正させていただきます。以上です。承知いたしました。
1:43:14	あ、衛藤規制庁のオオツカです。ですね。
1:43:18	39 ページと 4647 ページの線量評価グラフのことでちょっと教えていただきたいんですけども。
1:43:26	まず一つ目が、39 ページのカーボンフォーティーンのグラフを見ると、
1:43:32	ぐらいでハッチングしてある範囲のところにあの方が、
1:43:38	あるように見受けられるんですけども、ここで方が出るのは、なぜなんでしょうかっていうのと、
1:43:45	あと 4647 ページの人為事象シナリオ関係なんですけれども、
1:43:49	衛藤はい措置の開始直後、
1:43:53	直後に、収着を期待しないカーボンフォーティーンのピークが立っているのはわかるんですけども、同様に収着を期待しないと、塩素 36 のピークが出ないのは、これはなぜでしょうか。
1:44:09	日本原子力発電のハウチンでございます。まず 39 ページの最も可能性が高い成長シナリオになりますけれども、
1:44:17	これについては居住者代表的な評価対象個人居住者の評価結果になりますので海産物摂取の市場形成を考慮したものと、居住ですね、と等、
1:44:30	家庭菜園農産物摂取、こういうものを組み合わせた結果になっておりますので、この方になってるのはその複数の被ばく経路は単純にそれぞれ評価したものを足し合わせていますのでその結果がこう、
1:44:42	被ばく経路ごとにちょっと出るタイミングが違いますのでそれが功を制するとこのような形になるというのが結果でございます。
1:44:51	46 ページ 47 ページで
1:44:55	等、
1:44:57	はですね、非常に
1:45:06	小嶋教授の跡地の
1:45:10	直接利用のにおいて、居住をするものでそこで家庭菜園の農産物摂取するものと、あとは浸透水低減対策がなくなったような状態、掘削によってなくなったような状態で、

1:45:27	解散分Ⅱまで放射性核種が移行して、
1:45:33	それを摂取したことによって被ばくするような結果この三つを足し合わせた結果になってございますので、その結果においては特にこの、
1:45:44	カーボンとかがピクピークが出ている部分については
1:45:47	海産物摂取の結果を拾っております。海産物摂取においては、一番支配的になるのはカーボンとかそういうものになってございますのでこのあたりのピークが出てきていて、
1:45:58	クロルについては海産物摂取においてはピークとしてはそれで高く出ませんのでここでは出てきていないという結果になってございます。以上です。
1:46:07	規制庁の大塚でございますありがとうございます。
1:46:11	最終9ページに関してはそれぞれ海産物等農産物に移行するまでの時間の違いで米から出てきていると。他方、腎症の方は、
1:46:24	黒須さんの6が海産物の方で、濃縮度の違いですかね、濃縮係数の違いでAと。
1:46:30	海産物の方に入らないのでピークが出ないというふうに理解しました。ありがとうございます。はい。日本原子力発電ホウチンですご理解の通りになっておまして海産物の移行係数が黒野小さいですので、そういう結果になっております。
1:46:44	以上です。拝承しましてありがとうございます。
1:46:48	規制庁の盛田です。えっとですね私もちょっと39ページと40ページのところの解析結果について2点ほどお聞きしたいんですけども、まず1点目がですね、
1:47:01	9ページのところの最も可能性の高いシナリオの評価結果っていうところなんですけれども、
1:47:07	兼子チラーの覆土海洋この解析結果表はグラフの中でですね、 $1E-0$ 上、1年の段階になるかと思うんですけども、この1年経過した段階、覆土完了から、経過時間が1年の段階でですね、
1:47:26	クレゾであったりとか、トリチウムであったりとかっていうところに、ある程度線量が出てきている結果となっておりますけれども、こちらがですね先ほども申し上げましたけれども、解析条件では、その移流の速度っていうこと自体は、解析上は0.01メートル倍あって、
1:47:46	非常に遅いものとしておまして、
1:47:49	0の段階から用意ドンで露出をさせた場合に、こんなに早く線量が出てくるのかっていうところが、少しわからなかったんですけども、

1:48:00	1年程度で、廃棄物を埋設しているところから、ませ帯水層に移動したら地下水流速がありますのである程度の速さで流れていくっていうのは理解できるんですけども、
1:48:13	今新しいモデルの中では、廃棄物層から大水槽までの間に1メートルほど付き添うですかね
1:48:23	大間層が、流総の層があるかと思えますから、思えますので、そちらを0.001メートル π 移流ですぐ
1:48:33	飛ばし考えた場合には、ある程度の時間を要するっていう認識なんですけれども、それにもかかわらずこのような、1年経過の段階でどんどん線量が出てきてしまうっていうところは、
1:48:45	これどういうことなのかっていう分析はされておりますでしょうか。
1:48:51	日本原子力発電のハウチンでございます。ご指摘ありがとうございます。
1:48:55	こちらにつきましては先ほどご質問いただいたように被ばく協力者、三種類を足し合わせた結果になっておりまして特にここを元に出てきているものについては跡地利用、
1:49:05	そして跡地というか居住ですね、居住と家庭菜園の結果が出てきているものでこちらについては、帯水層ちょうちょ。
1:49:14	使い就床に入ったところの濃度を使って評価をしますので、そこまでのところについては評価上は時間遅れというのはあまり出てきていないというところになります。
1:49:27	先ほど途中で方が出てきているか本みたいなの出てきてるっていうところについては、これは海まで移行した先での被ばく経路をここで足し合わせてこの方々にできていますので、
1:49:40	上間に移行する期間の分が少し遅れて出てきているというような併用評価結果になってございます。
1:49:48	以上でございます。規制庁の飯田です。ご説明いただきありがとうございます。今ご説明いただいたように最初に跡地利用の話が出てくるっていうところは、
1:50:01	なぜそこが出てきてそのあとに海産物摂取っていうところが出てきてっていうところは
1:50:07	僕はそうだろうなっていうところはあるんですけども、実際その移流速度が遅い。
1:50:14	ていう花Cを案内すると、こちらも加来さんの速度的に、その1年程度で、帯水層にもうぽっと入ってくれば、大成町までたどり着くことが1

	年以内にできればそういうふうに線量が出てくるかなっていうところなんですけれども。
1:50:31	実際医療、非常に遅いものと設定している場合に、拡散によって1年程度で、田端区長までとたどり着くっていうそういう結果という認識でよろしいでしょうか。
1:50:46	日本原子力発電のハウチンでございます。拡散の影響も出てきてるかなと思っております。グラフ上どうしても、このような形の縦軸で示しておりますので、見た目としてはとても出てるように見えますけれども、線量としましてはマイナス5乗程度のところですのでごく低い線量のところの領域になってますので、
1:51:05	そこに使って評価に使う濃度ってのも十分低い濃度になってます本格的に流れ出てきたものを拾っているという理解ではないので、その理解で結局結構かなと思います。
1:51:18	副所長の有田です。最後に言ってた企画なんですけども
1:51:23	前提条件としても、この0から、もう廃棄物IIに
1:51:30	設定条件としてです解析上の条件としてですね0の段階で含まれているものが、その廃棄物の区画に行って、もうすべてインベントリーがすべて均一に乗り出したってというような、
1:51:42	状態にして、そこから
1:51:46	流れ、流れ出ていくことがスタートするっていう0秒の段階でスタートするっていうそういう解析になってるっていう認識っていうのは間違いないでしょうか。
1:51:54	評価上に本社対策のハウチンでございます評価におきましては、
1:52:00	ちょっと背部痛層のところ全体均一にしてるっていうところはそこでも遺留分基準拡散を見ておりますので、ちょっと違いますけどもイメージとしてはそういうイメージでいいかなと思います。以上です。
1:52:13	それから、規制庁相田です。承知いたしました。ご説明ありがとうございます。
1:52:17	続けてですねもう1点ですね、今のちょっと関係してなんですけれども、
1:52:26	次の40ページのところ、例えば40ページ以降のところでは厳しいシナリオの話がありますけれども、例えば43ページのところに居住者の話が、
1:52:36	あるかと思えます。43ページの運営等厳しいシナリオの結果とですね、
1:52:42	これは最も可能性が高いシナリオの39ページのシナリオ評価結果でですね、これが先ほどの立ち上がりっていうところを見ると、立ち上げる

	タイミングっていうのが全然違うような形になってはいますがそれでもそちら。
1:52:58	厳しいシナリオでは、50年経過以降にこうぐっと立ち上がってしまうっていうようなグラフになるっていうのはこれはどういう、
1:53:07	強権の違いを反映してるんでしょうか。
1:53:11	日本原子力発電のハウチンでございます。最も可能性が高い自然事象シナリオにおいては、可能性が高いところとして埋設が終わった瞬間から放射性核種たちが漏出する可能性があるというのが考え方としてた。
1:53:27	最も可能性が高いのかなというところで、評価のルールを変えさせる時期としては、0年からというイメージでございます。一方で、ここで30、43ページ等で示すような最も厳しい自然事象シナリオにおいてはですね、
1:53:41	先ほどの39ページのグラフを見ていただいてもわかるように廃炉に口、
1:53:49	ハッチングかけてる時期、この時期に露出を開始させるとするとですねこの結果、今50、43ページの結果たちがそのままスライドして左の方に行くこととなりますそうするとですね廃止措置開始。
1:54:05	前にピークを出すようなものが出てきますのでこれは評価において保守的な評価条件になっていないんじゃないかというところを我々は考えておまして、
1:54:15	廃止措置開始後から露出を開始させるというような条件に書いてございます。
1:54:22	説明は以上になります。久野会田です。ご説明いただきありがとうございますございました。そこ厳しいシナリオっていうところのシナリオの考え方として、廃止させる、させるタイミングの違いっていうところが、
1:54:36	0させるか50年たって
1:54:40	再処置が開始した後に同意されるかっていうところの、その前提条件の違いが出てくるというところで理解をいたしました。
1:54:49	こちらの結果について書記1点確認をさせていただきたいんですけども、
1:54:53	ファミリーはですね。
1:54:58	厳しい内容の本を見るとですね、カーブIV T アドエアかかポートピアA36っていうところは、厳しいシナリオの方っていうのは、
1:55:12	ある程度遅れたタイミングで、線量が出てくるような形となっているかと思うんですけども、
1:55:19	永尾。

1:55:23	カルシウムを見るとですね、カルシウムすいませんちょっとカーボンフ ォーティーンは塩素 36 の行く出現タイミングっていうところとあとカ ルシウム
1:55:39	もう出現タイミングっていうところが、
1:55:41	厳しい条件にするか最も確からしい条件にするかっていうところで、ピ ークで出てくるタイミングとクニカワカルシウム 41 位の、
1:55:51	タイミングっていうところが、かなりちょっとずれがあるように見える んですけども、こちら、深部の 41 の線量が出てくるタイミングがず れるっていうところについては、
1:56:02	これは何か分析はされておりますでしょうか。
1:56:08	日本原子力発電のハウチンでございます。
1:56:12	ちょっと即答できないので確認させていただきたいと思いますが、ここ を被ばく経路として合計しているものが、
1:56:22	最も厳しい自然事象シナリオでいきますと今日井戸水飲用みたいなもの を加えておりますのでそちらの影響が顕著に出てるのかと思います。ち ょっと確認をさしてください。以上です。わかりました。そうですね。 こちら多分考慮しているものの違いっていうところとかもあるかもしれ ないですので、
1:56:41	今日
1:56:43	修繕しない自然事象シナリオのところだとカルシウムがかなり遅いタイ ミングで出てくるのに、厳しいシナリオでは、かなり初期の段階で出て くるっていうところが少し気になったりもしたところですので、
1:56:56	放出されるタイミングの違いとかっていうところについてもある程度分 析されてご説明いただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:57:04	私からは以上です。
1:57:09	はい。規制庁のスゴウです。資料 1-1-1 は以上になりまして、
1:57:15	すいませんちょっと 12 時近くなってるんで、大森、ちょっと規制庁が 1 ちょっと急ぎでお願いします。
1:57:23	それでは 1-1-2 なんですけども、
1:57:28	資料 1-1-1 の 8 ページのところでも、ヤマダから指摘してるんですけ ども、その F E P リストと、1-1-2 の繋がりですねちょっと、
1:57:38	わかりづらいんでそこはお願いします。あとこの細かい話なんですけ ど、こっちの 1-1-2 だと、その熱特性 W t 01 とか入ってたりするん ですけど、
1:57:53	1-1-1 は入ってないんで、そういうところの整合もお願いします。

1:58:03	東栄住宅の土橋で承知しました。はい。
1:58:07	じゃ、次、大塚さんお願いします。
1:58:13	はい規制庁の大塚です。ちょっと記載ぶりの問題だけだと思うんですけども、計1ページ以降で、青分類のところの説明が、間接的な影響または影響が小さく無視できる事象、
1:58:27	ていう記載になっていて、両方とも青で除外されてると思うんですけども、仮にその間接的な影響であっても、
1:58:37	その影響が大きいものというのは対象にすべきだと思うんですが、ちょっとこれ、欄外の記載の問題だけなのかもしれないんですけども、ちょっとその事実関係の確認と、もしその、
1:58:50	と青分類のやつはすべて影響が小さいんだということであるならば、欄外の説明を少し変えていただければと思います。
1:58:59	消費税の小橋ですそうですね。間接的な影響についてはもう一律に合うようにしていたんですが、経験の程度を踏まえて、分けた方がよりわかりやすいのかなと思いますので、
1:59:11	少し見直しをさせていただきます。ありがとうございます。
1:59:14	はい。よろしくお願いします。
1:59:17	規制庁山田でございます。2ページの表の中で、
1:59:24	清藤先生の乾湿の影響について書かれているんですが、それでは、
1:59:33	広報があるからってことがあるかなというそこだけの理由で書かれてるんですが、
1:59:39	極めて重要なところですので、エビデンス含めてですね説明をする必要があると思います。補足説明資料3-10本
1:59:48	ペーパーを見ているんですが
1:59:51	あまり内容書かれていないように思いますので、
1:59:55	数名がその補足は必要かと思います。
2:00:00	減少改善のプロセスご指摘ありがとうございますここについては開発営業のところを、そうですね、少し定量的な評価も説明できるように、説明の中で、影響しないという判断根拠というところに移し替えて、
2:00:14	少し説明を追記したいと思います。ありがとうございます。はい。よろしくお願いします。続きまして、4ページのところです。
2:00:24	それで液状化地震の影響についての検討をされているんですけども、
2:00:32	今、答弁施設はプラスCとしての評価をされてると思うんですが、
2:00:38	Aとしてですね、

2:00:42	レベルの地震動だけの評価でやるのかどうか、それ以上の地震動の場合には、どういう影響があるかっていうのが検討されてるかどうかということをお教えいただきたいんですが。
2:00:58	コアシです。基本的には温情の振動がベースになると考えておりますので、2、ここはあの件かなと思いますが、ちょっと私は園舎としては、こういったことが起こるのかってというのは、その規模はどのぐらいになってどういうふうになってというのは、定量的な評価までは、
2:01:18	していないんですが事象としてはこうとらえて評価するようにはしております。
2:01:24	以上です。
2:01:26	またお考えをお聞かせください
2:01:30	ちょうど道路供試報酬においては高確率発生する地震であるレベルワン地震動に対しては健全性を損なわないから、
2:01:37	大地震に関するレベルツー地震動に対しては、予定されて損傷止めるなど、
2:01:43	また致命的な被害を防止するんみたいなことで基準というか、かけて示されていて、
2:01:50	今、この施設、長期間はもう共有するものでありますので、そのときの状態設定の中で、
2:01:58	どこまでの法律べきものが、そういった影響度を考えるかっていうことが、
2:02:02	一つあり得るかと思います。また、ご検討ください。
2:02:10	こうして承知しました。
2:02:17	規制庁の盛田です。続けてですね6ページのところで、こちら記載フリーのところから整理の仕方の問題かと思いますがけれども、
2:02:30	そうですねこれ6ページの表、第6表の中でですね、例えば一番右議員の列のですね集客で地盤の収着性のところなんですけれども、こちらは、
2:02:41	右に記載されてるものはすべて最終的に希釈によって影響は小さく考慮しないってような提起されているかと思いますがけれども、こちら、意味合い的には、
2:02:52	青井ろう、こちらの整理の仕方として青色で無視できる事象っていうことで、緑色になっておりますけれども、青色という意味でよろしいでしょうか。
2:03:05	はい、峯岸松野毅です。

2:03:08	そうですね
2:03:10	基本的には希釈に提供しないものですので、まだありがとうございます。もし
2:03:15	等、そこは見直しが必要かなと思います。影響しないと考えております。わかりました。こちらの高谷フェリー上の問題かと思っておりますので、もし最終的に影響しないってような整理をされているのであれば、他にも、7ページだったりとかにもそういう、
2:03:30	記載がされている部分ありますので、青にするのか、緑にしてご考慮しているのかっていうところは明確にさせていただければと思います。
2:03:39	続けてですね7ページのところなんですけども、
2:03:44	小中ダーッと7ページの一番上の段ですね、こちらは影響ごととして地盤地下水ってところがあるんですけども、地盤の化学特性の話が一番上のように書かれていますけれども、
2:03:58	こちらですね一番右の李通の話で、地震の収益性に提供がするってというのはわかるんですけども、
2:04:06	自分の話がですね、1、1列目と2列目の、覆土の方のですね、集客性であったりとか、低透水性に、
2:04:16	地盤の化学的影響ってというのが伝播していくっていうのが、そちらに影響するってというのがいまいちょっとよくわからないんですけども、こちらはどういう想定で書かれているのでしょうか。
2:04:33	農業課税のコアシです右側の列の収着性につきましてはこれ地盤といっても二つあって、一つ帯水層で水が流れるところともう一つは流総といってこれ、
2:04:48	生命評価モデルの中で、通気層として位置付けてまして、それに廃棄物の直下にあるfalseをリユースを、あとその下の地下水が流れるところを帯水層として分けてますんで、先ほどご指摘もあったんですけど
2:05:04	地下水が流れているところは希釈の影響があるし、廃棄物直下のところは少し影響があるというような、二つの記載が少し混在してるところなのでお顔立てるのかなと思いますので、
2:05:17	要するにそういうことなんですけど少しここは記載を直したいと思います。守田です。承知いたしましたちょっと先ほど
2:05:27	関係性の話っていうところもありましたけれども、
2:05:31	こちらの地盤の理由像と帯水層の化学特性というところが、どういうふうに魔女原則生成袋であったりとか、中間覆土っていうところにも作用するのかっていうところは、

2:05:43	明確にしてせえご説明いただければと思いますのでよろしく願いいたします。
2:05:51	風のコアシで承知しました。
2:05:53	最後にですねこちらの記載ぶりだけなんですけれども 6 ページ。
2:05:59	ですね 6 ページ 7 ページのところですねちょっと 2 本郷的にちょっとわかりにくい場所がありますので、そちらを直していただければと思います。該当する場所というのがですね例えばですね 6 ページの第 6 章の中で、
2:06:14	一番下の部分ですね、
2:06:18	予定透水性覆土の化学特性 B C 0 湾として、
2:06:23	A が B C 030405 に関して一番左では、と指定の後に関係してというように形に分かれていて、その右隣を見ると関係してか。
2:06:35	で、一番右は関係して関係してという形で、
2:06:39	それがですね 0 一井と 02030405 っていうところが包含関係なのか。
2:06:46	それとも並列で書かれてるかっていうのは、少しちょっとよくわからないような記載になっているので、
2:06:53	記載がバラバラになってる、同じ言い回しのところが記載バラバラになってるとかですね保安関係と並列関係っていうところが少しちょっとわかるように、各社の仕方を修正していただければと思います。
2:07:06	次、20 番目のコアシご指摘ありがとうございます。ここは相関関係を示したと思うんですけど少し日本語に、7 月期がある程度整合がなかったと思いますので修正させていただきます。ありがとうございます。
2:07:19	貴重モリタ承知いたしますよろしく願いいたします。私からは以上です。
2:07:28	あ、衛藤規制庁の大塚でございます 9 ページのところの金属色のところなんですけれども、先ほどの資料 1-1-1 の酸素の供給量とも関係するんですが、金属の腐食腐食による発生膨張量を評価してますけれども、この際の金属の腐食量というのはこれは、
2:07:47	埋設したその金属が全量腐食するという設定でしょうかそれともその一部が腐食するという設定でしょうか、ちょっと確認させてください。
2:07:56	イノベーション発への投資ですここ評価につきましては一部になります医療ではなくて、一部が賛成に応じてシュクシヨクするという評価をしております。
2:08:06	はい、わかりました事実関係ありがとうございます。そうしますと先ほどの酸素供給量というのはその腐食量とも密接に影響してくるのでちょ

	っとその評価については併せて今度、今後確認させていただきたいと 思います。以上です。これで承知しました。
2:08:28	配へ。
2:08:31	データのスコウです。資料1-1-2は以上のですね。
2:08:35	1-1の沢野で、そしたら資料1-1-4に移ります。
2:08:43	社長の山田でございます。
2:08:45	4ページの、
2:08:47	の理由層の分析結果のところですよ。
2:08:53	直接空中空間係数の話ではむしろないんですが、
2:09:00	コメントいたしたいのはこの中、
2:09:02	含水率の値です。
2:09:05	S E S 2 という履きが設置に近いところあたりが、7%前後であるに対し て、F 40 H 4 てのところは、0.
2:09:16	340.18 と非常に小さな値になっています。これは同じで郵送という扱い だと思っんですけども、
2:09:25	何をを問題視するかと申しますと、
2:09:30	今施設内への審議水量をいろんな対策を加えられて、極めて小さな水量 に制限されようとしているんですが、
2:09:39	評価上の扱いで見ますと、その効果がちゃんと発表されてですね、非収 着性核種の流出が時間的に分散したことになるためには、
2:09:50	廃棄物に浸透する水の量に対して、中間覆土であるとか、その通気層で すか、こういったことで郵送とか事業の
2:10:00	保持する水分量、水分報道、この比率が大きい。
2:10:07	浸透水量が非常に少なくて保持する水分コードが大きいんだ。これは非 収着性学習にとっての遅延係数的なやつ。
2:10:17	働きをしますんで、これが重要だということになると認識をしております。 そうした時を見ますと、
2:10:28	S I S 倉庫の含水率はホールに直すと10数パーセントありそうですけ れども、
2:10:35	後者のF 4 \$ F A 一番でもこちらの数字ですと、
2:10:42	正攻法で1%程度しかありませんのでこれですと、実効的な遅延の効果 というのはほとんど見込めないことになり得るのではないかと考えてお ります。従いまして、
2:10:56	中間覆土それから、施設の下にあるっていうそのの辺りについ、

2:11:02	ここにおける弾性率値が実際どういう値になるのかっていう、極めて性能上重要になりますので、そこがどういうふうに確認をされるのかまた管理をされるのかということ、
2:11:17	説明がどっかでされることが必要ではないかと考えております。
2:11:23	宮路安全のコアシです。ご指摘ありがとうございます。そうですね少しこれについては3ページのデータ等も確認しながら、確認規定で説明を追記したいと思っておりますありがとうございます。
2:11:37	よろしくお願いします
2:11:39	この水門後の扱いにつきましていけば、
2:11:44	せ、測定した場合から17%持ってきましてっていうふうにはですね、だけ書かれているんですが、説明の中で1回ここが、
2:11:55	あたりの持つ重要性ってのはどこにもこう書かれていませんが、むしろそこをちゃんと書いてその上で、どう会議をするのか確認するのかということの説明の方がいいかもしれません。
2:12:12	平瀬本橋です馬場井沢でございます。このように対応します。
2:12:19	清町の盛田です。続けて8ページのところで、ちょっとこれは確認なんですけれども、8ページのところでですね、
2:12:30	3、
2:12:31	ところでですね本当は小さい値を1桁目が1か3になるように小さな丸めた値を設定したてありますけれども、これは市川さんになるようにCさんに丸めて、
2:12:43	ていうのは、これはどういう意味合いの操作になるんでしょうか。
2:12:47	この、何か丸め方的にどういう、どういった意図があるのかなっていうのが少しわからなかったんですけれども。
2:12:55	原子力発電の河内です確認ありがとうございます。これについてはですねどういった攻撃になれるかという設定の考え方でして、今回、
2:13:06	収着分配係数ですので、特別形で見たときに、大体3っていうのは、間に来て、1か3という丸めを二つ設定したというところこちらの小さい方になるんですけど、その時にどこに設計するかというのを、
2:13:21	この1回、1桁目が1か3になるようにというふうに設定してございます。以上です。
2:13:28	わかりました。見やすさの観点といいますか、補
2:13:34	いずれにせよ補正をとって丸めているっていう操作自体は、とっているっていうところで、あとはそれを宮さんの観点で、1にするか3にする

	かっていうところを選択されてるっていうようなそういう意味合いでよろしいでしょうか。
2:13:49	日本減少数の詳しいその近江甲斐で間違いございません。以上です。規制庁モリタで承知いたしました。
2:13:57	規制庁のすごいそれ。それで、最後ですね、資料1-155 なんですからけれども、ちょっと
2:14:06	この資料自体が、1-1-1とか、ちょっとどこと紐づいてるのがわからなかったというかなかったと思うんで、
2:14:16	ちょっと紐づきを、
2:14:19	しっかりとしてもらえればと思います。
2:14:24	日本原子炉安全のコアシですそうですねちょっと全体まだ審査対象になってない資料として今回付け加えましたので、一応参考として上げさせていただいたんですが、1-1-1に動くように、
2:14:36	説明をしたいと思います。ありがとうございます。
2:14:39	はい。以上が、とりあえずコメントになります。
2:14:44	それで、冒頭のその方針の話ですね。
2:14:51	については、ちょっとまとめたものを、
2:14:56	31日までに、
2:14:59	多少いただければと思いますのでよろしくお願いします。
2:15:04	その他、何か聞きたいこととかありますか。
2:15:11	土産10月のコアシです。
2:15:14	ご指摘いただきましてありがとうございます方針についてはすぐに取りまとめたいと思うんですが、例えば評価期間の見直しのところは、今回もそうなんですけど、今回ガイドの考え方とかがどうだっていう、非常に前例がないと、悩ましいところもあって、
2:15:33	例えばなんですけど、ああいう人はこう具体的にこうこういった数値でなってますというのは数値を見せながら面談でご確認いただくとか、そういった対応っていうのは可能なんですか。
2:15:45	規制庁のスゴウですそれ、今おっしゃってるのは、実際にそういう方針でやったときに、こういう、
2:15:55	評価結果になるんですけども、
2:15:58	それは、
2:16:00	ガイドとの関係でどうでしょうかみたいなそ、そういう話なんですかね。

2:16:05	そうですね日本無線の小橋ですどうしてもガイドの解釈と、我々の評価を照らし合わせて、我々の考えを述べさせていただくんですけど、それについてご意見をいただきたいというところでございます。
2:16:20	規制庁のスゴウですそれは、
2:16:24	ある意味、もう普通に審査、
2:16:27	の一環だと思うので、
2:16:29	ヒアリングなりで示していただければ、
2:16:33	はい。
2:16:35	構わないから。
2:16:37	ます。事前というよりは、それも含めて、ヒアリングでお示しいただければと思います。
2:16:46	名称が前の講師で承知しました。ありがとうございます。はい。
2:16:49	こっからやっぱ規制庁のスゴウです他よろしいですか。
2:16:54	はい。よろしければちょっとすいません時間 12 時過ぎてしまって申し訳ないんですが、以上で本日のヒアリングは終わりにしたいと思います。ありがとうございました。
2:17:05	ありがとうございました。